41-修験の山々

著者/柞木田龍善　　法蔵館　1980 年

【Ⅰ-修験登山】

0-修験登山とは何か

・修験道、山岳信仰、峰入り、十界修行　他

1-修験者の系譜

・役小角、智証、泰澄、理源、行智、最澄

・空海、勝道、覚明,普寛、播隆,木喰、弾誓

2-修験の山

・出羽三山・立山・富士山・戸隠・大山

・石鎚山・剣山･英彦山・求菩提山　他

3-現代における修験道

・修験観、山林の優婆塞、山･神の国

【Ⅱ-修験の山々】

1-大峰連峰奥駆け

・吉野-山上ヶ岳-深仙-前鬼～７５靡

・太古の辻、熊野坐神社、玉置山　他

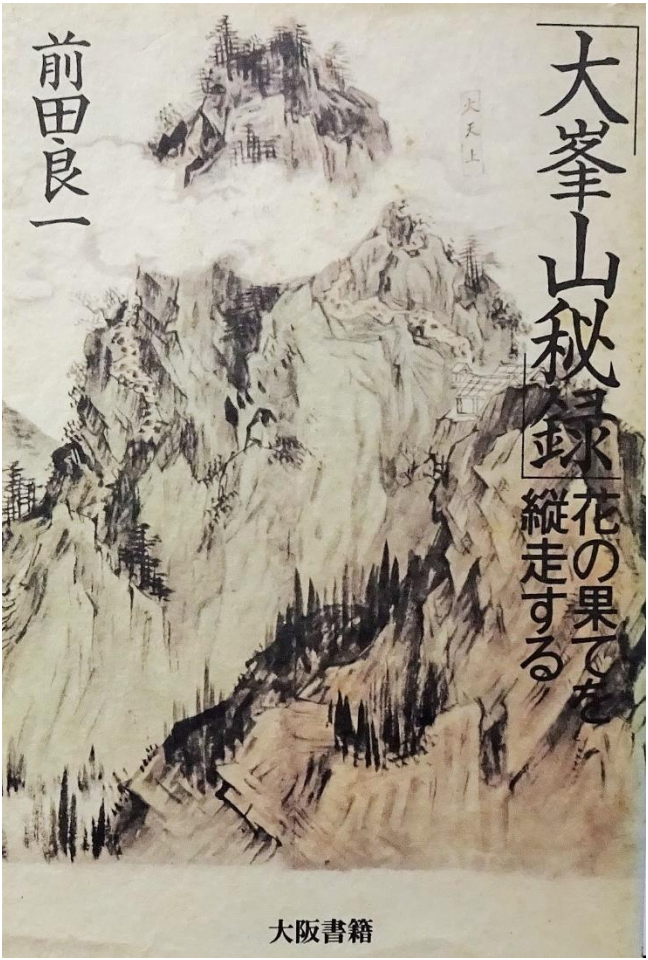
2-飯豊連峰

・雪の大日岳、本峰での祈禱の実際　他

3-朝日連峰　縦走、仙人の遊び場　他

42-大峯山秘録

著者/前田良一　　大阪書籍　1985 年



序　花の果ての山脈

1-大峯奥駆け修行

・荒行の一日

・深山の浄土

・弥山から前鬼へ

・最後の難行

・強力秘話

・花の紳士録

・黄金仏の出土

・岸田日出男翁

・寺務所炎上

・山の郵便局

・仙人秘話

・鬼の村

・文化の伝統とお朝拝式

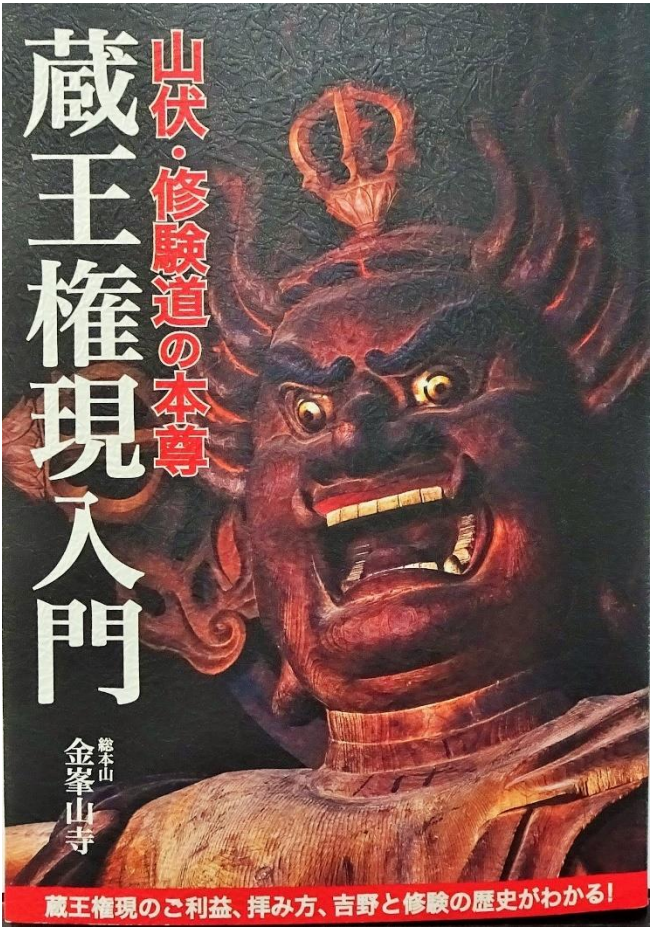
・ニホンオオカミ最期の地

3-大峯山の歴史と風土

参考文献

43-蔵王権現入門

著者/総本山金峯山寺　国書刊行会 2010 年



1-蔵王権現さま

・蔵王権現一仏信仰

・蔵王権現の姿・力・拝み方・結縁

2-役行者と修験道

・役行者とは、修験道とは、峰入修行とは

3-吉野と金峯山

・金峯山寺の歴史,蔵王堂,法要,行事,修行会

・吉野の桜、世界遺産

4-脳天さん

5-金峯山寺山主の遺訓法話

6-勤行要典

〇法螺三唱　〇三礼　〇懺悔　〇祓　〇発菩提心

〇三昧耶戒　〇開経偈

〇観世音菩薩普門品偈

〇摩訶般若波羅蜜多心経

〇蔵王権現和讃

〇蔵王権現真言

〇神変大菩薩真言

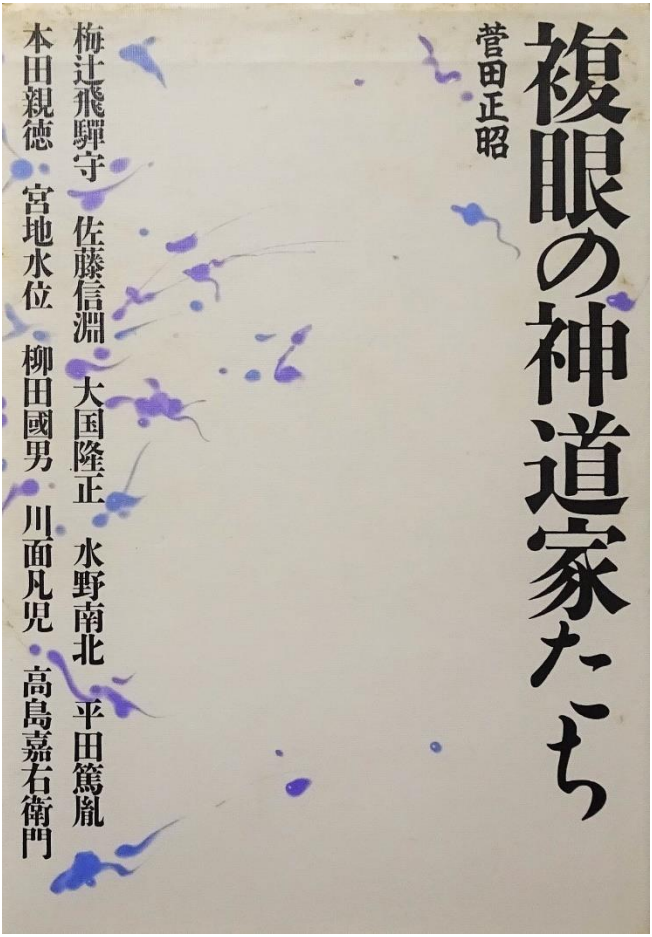
〇不動明王真言

〇三部総呪　〇諸天総呪

ほか

44-複眼の神道家たち

著者/菅田正昭　　八幡書店　1987 年



1-梅辻飛騨守の神道論

・神とは火水則嚙、烏伝神道、数霊　他

2-霊主物従の実践的思想家・佐藤信淵

・共通の風土、洞察力、神のしくみ　他

3-本学の創唱者・大国隆正

・太トの区象は宇宙万有の神理　他

4-観相学から霊的食養道へ・水野南北

・仙師から相学の奥秘、一食・節食　他

5-霊学の嚆矢・平田篤胤

・大本霊学に影響を与えた、伯家周辺　他

6-鎮魂帰神法の再興者・本田親徳

・歴史の闇に幽閉された霊学　他

7-神仙として幽界を探訪した・宮地水位

・神仙界の様子、死生観、行法、道統　他

8-民俗学の最終段階の新国学・柳田國男

・医者で神職、日本の霊性文化の甦り　他

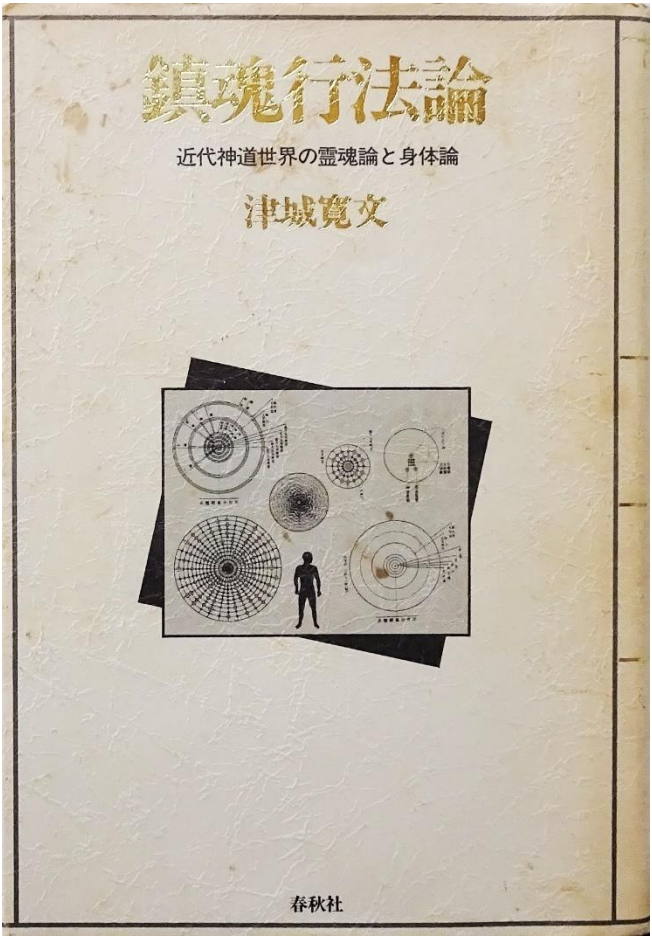
9-川面凡児の日本最古の神道

・禊流神伝、稜威会創設、行法の深奥　他

10-高島嘉右衛門と高島易断

45-鎮魂行法論

著者/津城寛交　　春秋社　1990 年



序　本書の目的と構成

1-鎮魂行法家の群像

01-本田親徳　02-長沢雄楯　03-出口王仁三郎
04-浅野和三郎　05-友清歓真　06-谷口雅春
07-荒深道斉　08-宇佐美景堂　09-岡田茂吉
10-岡田光玉　11-佐藤卿彦　12-黒田みのる
13-五井昌久　14-川面凡児　15-宮地水位
16-田中治吾平　17-山蔭基央　（01～13 大本系）

2-鎮魂行法研究の立場と方法

・岸本英夫の行研究、シャーマニズム　他

3-大本系の鎮魂帰神行法説

・鎮魂、帰神、浄霊、神想、統一　他

4-川面凡児の鎮魂行法説

・霊魂観と身体論、祭神観、鎮魂、脱魂　他

5-田中治吾平の鎮魂行法説

・鎮魂の典拠、霊魂観、非幾何学的行法　他

6-その他の鎮魂行法説

・宮地水位の霊胎凝結法、山蔭基央の説　他

7-鎮魂行法の身体論とその類型化

46-古神道行法秘伝

著者/大宮四朗　ﾋﾞｲﾝｸﾞﾈｯﾄﾌﾞﾚｽ 2001 年

1-古神道入門　八百万の神・神我一如・他

2-古神道行法秘伝

・禊　・鳥舟・雄健・雄詰　・息吹

・石上鎮魂法　・伯家行法　・霊胎凝結法

・言霊行法　・久延彦之法　・神風伯神伝

・鎮魂帰神法　・田中鎮魂法　・荒深鎮魂法

・陽気吸収法　・数息鎮魂術　・布瑠部の術

3-古神道占い・まじない秘伝

・太占　・禁厭法　・八剣の呪式　・神光法

・切り火の秘事　・霊手法　・神手秘法

・神伝無手禁厭法　・風神秘伝　・水神秘伝

・伯家流太瓊伝　・神通悪魔縛りの秘法　他

4-太古神法神折符秘伝　願望成就符

5-古神道霊符秘伝

・霊符の書き方　・五臓神符　・危難除符

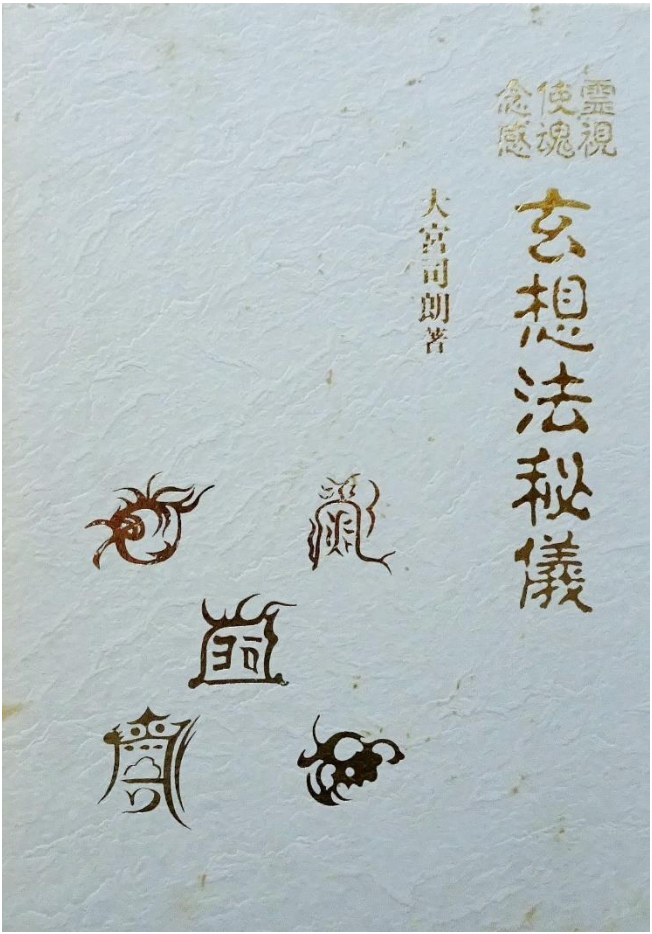
・妖魔除符　・安産符　・火難除符

6-神々しき響き岩笛

附録　古神道を極める秘書

47-玄想法秘儀

著者/大宮四朗　　八幡書店　1993 年



【本編】

1-玄想法理論

2-宮地水位先生の道統

3-玄胎凝結法幽義

4-神僊霊感使魂法幽義

5-神仙導引気訣幽義

【諸伝の部】

1-玄夢駆使法要訣

2-禊流奥秘鎮魂鳥居之伝

3-秘伝玄気霊視法

4-山相秘伝望気之術

5-水晶球玄視法

6-天地一体言霊観想法

7-太古真伝神折符玄想法

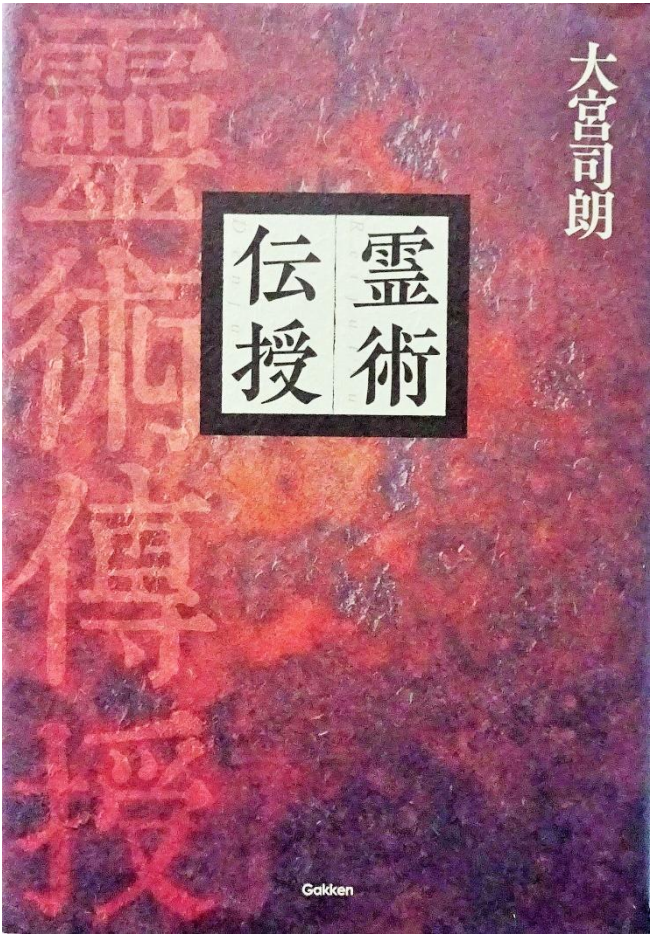
8-憑霊審神幽体顕現法

9-神通発揮識神生成法

付録　霊胎凝結口伝、神僊霊感使魂法　他

48-霊術伝授

著者/大宮四朗　　学習研究社　2014 年



1-霊術史講義

・霊術家の源流・友清歓真と秘教霊学　他

2-霊術伝授　入門編

1-鎮魂法…霊魂を充実させる

2-帰神法…神界に感合する至尊の法

3-吐納法…丹田を鍛える

4-霊動法…霊気を発動させる

5-清め祓い…悪霊退散・招福開福の秘法

6-伊吹の法…魔を吹き払う

7-神手秘法…手からオーラを出す

8-神光法…まぶたの裏に映る霊光で占う

9-危険予知法…古伝の災厄回避術

3-霊術伝授　奥伝編

1-使魂法…魂を宇宙の極みに飛翔させる

2-霊胎凝結法…身外に霊妙な胎を生じさす

3-言霊秘伝…言葉に宿る神秘パワー

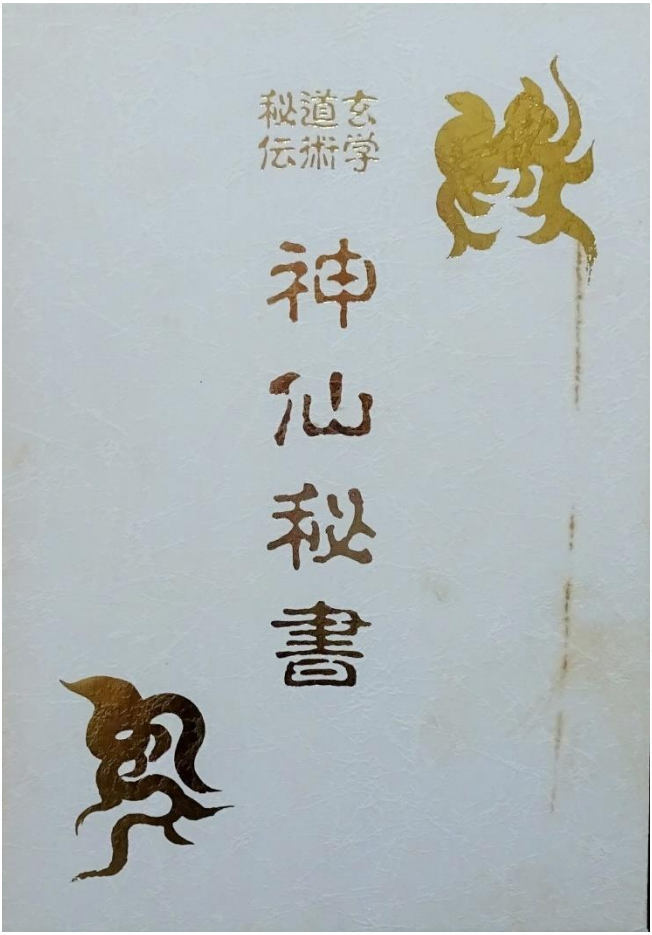
4-太古神法・神折符…幸運を呼ぶ折り紙

5-天津金木占法…大宇宙を見通す秘占術

4-霊術霊符秘法

49-神仙秘書

著者/宮地水位　　八幡書店　1999 年



1-玄学求探

・伝道開端編　・玄道或門　・好道意言
・窮理笑談　・玄真栞　・玄学異名蒙引
・神僊順次伝

2-神術秘伝

・霊胎凝結口伝　・神仙霊感使魂法訣
・神仙導引気訣　・鎮魂式一家法
・仙人下尸解法訣　・仙人食物編
・神僊真形図施行法

3-道書玉篠

・神仙霊含記　・玉篠摘葉　・玉篠一籤

4-秘儀考察

・蛇の室屋　・海宮考　・巫医者大意
・青真小童君伝集録　・五子録

5-神秘叢談

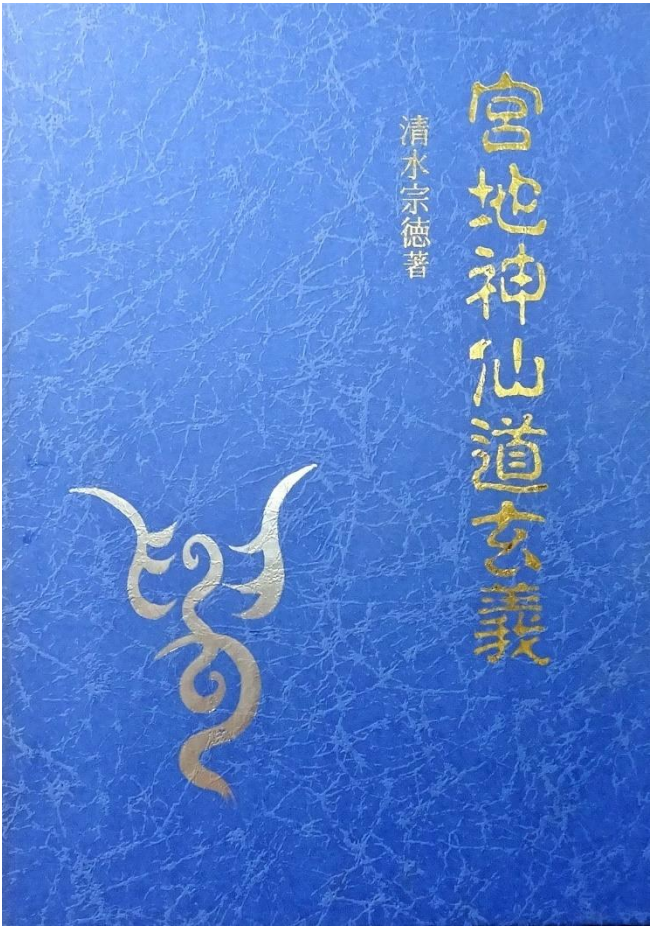
・天狗叢談　・幽霊叢談　・奇火叢談
・和漢再生叢談　・仙境叢語

6-金言玉章

・懇祈して霊応あり　・玉石混合　他

50-宮地神仙道玄義

著者/清水宗徳　　八幡書店　1988 年



【1-玄学真義】

01-混沌五岳真形図説　02-神仙霊含記講究
03-霊章符書の五色及　04-司命の秘義
05-霊鏡台の幽事　06-鎮魂秘義
07-神通の玄理　08-仙去の玄法
09-道章秘義　10-神剣之記
11-幽界羽扇考　12-蓬莱仙境秘義
13-太真西王母真伝　14-節句行事考察
15-三丹田の研究　16-第四次元の力学
17-符書の玄訣　18-切火祓ひの玄義
19-古伝大祓式　20-真伝大祓詞
21-水位先生の大祓詞　22-伝道授書の誡掟
23-廁神の霊的交渉　24-仙境異聞の研究
25 憑霊審神録　(付)01-八会之霊書
02-仙階に就て　03-天狗駆使法
04-清めの一法　05-清祓法
06-魂魄秘妙感想図　07-人間開闢の原理
08-得仙秘文「福寿海無量」の大神呪

【2-異境備忘録幽義】【3-玄学の道統】

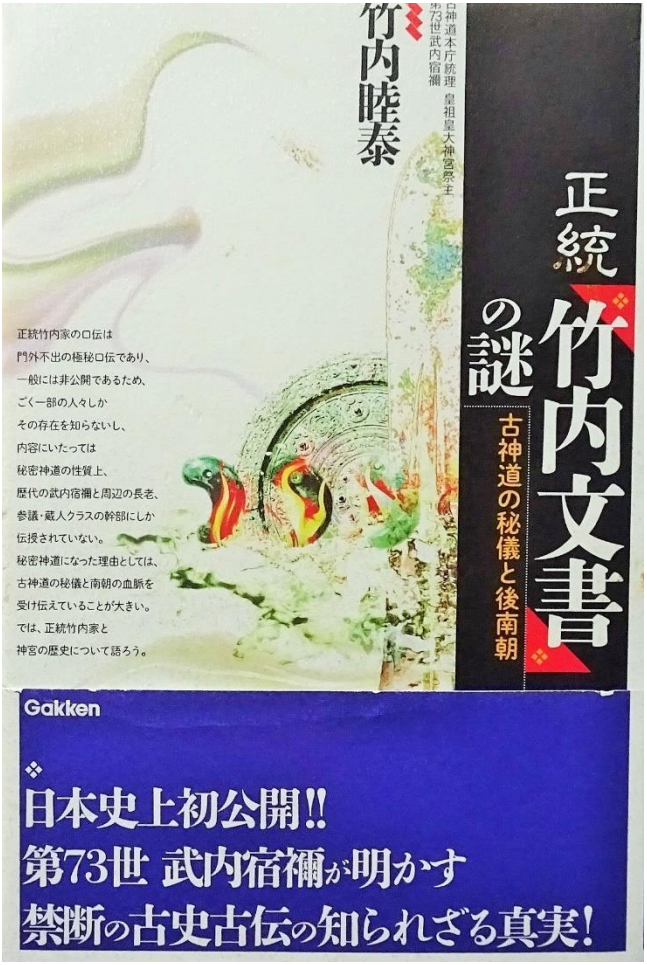
51-言霊ホツマ

著者/鳥居礼　　たま出版　1985 年

序論　 　言霊・ホツマツタエ　他
01-フトマニ
　・四十八音・トホカミヱヒタメ八神　他
02-アワの歌
　・天地・結い和す・ミヤビ・アヤワ　他
03-琴
　・和琴と天照大神・コトのは・真澄の鏡　他
04-天御柱
　・柱の巡り方・男女の言挙・アワの原理　他
05-神葬祭
　・死生観・イザナキ・イザナミ・高天原　他
06-和歌
　・三十一文字・枕詞・回歌と言霊の作用　他
07-語源
　・古代日本年中行事・東西中南北の語源　他
08-伊勢の道とアイウエオ
　・イモとヲセ・日月星・空風火水埴　他
09-掌相　言霊の宝庫・ヲノコロとタミメ　他
10-三種神宝と言霊
　・一十(ヒト)の原理・瓊・八咫鏡・剣　他

52-正統竹内文書の謎

著者/竹内睦泰　　学研　2013 年



1-古史古伝「竹内文書」　ムー大陸伝承他

2-茨城「竹内文書」の矛盾　系譜・正体他

3-竹内宿禰の謎　月読暦・長寿伝説・73 他

4-正統「竹内文書」　極秘口伝・秘密神道他

5-古神道の秘儀　古神道には善も悪もない

・反魂蘇生之行法　・離魂分身之行法

・御鏡御拝之行法　・鎮魂帰神之行法

・真床男衾之行法　・言霊之行法

・息吹永世之行法　・禊之行法

・盟神探湯　・八雲村雲十握剣之行法

・天之浮舟の行法　・呪殺について

・神恩霊気之行法　・古神道における神　他

6-南朝と後南朝

7-織田信長の秘密

8-古武術竹内流　竹内神流に伝わる忍術他

9-竹内神道内八洲外八洲・万教同根・万教帰

10-竹内宿禰の復活　古神道と石・神秘他

資料編　帝皇日継、竹内家略系譜、他

53-神道聖典

編者・発行/仏教伝道協会　　1983 年

1-古代（14 書）

〇古事記　〇日本書紀　〇風土記
〇万葉集　〇続日本紀宣命　〇古語拾遺
〇先代旧事本紀　〇令　〇延喜式
〇神楽歌　〇催馬楽　他

2-中世（19 書）

〇中臣祓訓解　〇伊勢二所皇太神御鎮座伝
〇倭姫命世記　〇神道簡要　〇旧事本紀玄義
〇神皇正統記　〇神道由来記　〇神道大意
〇神代巻口訣　〇世中百首　他

3-近世（27 書）

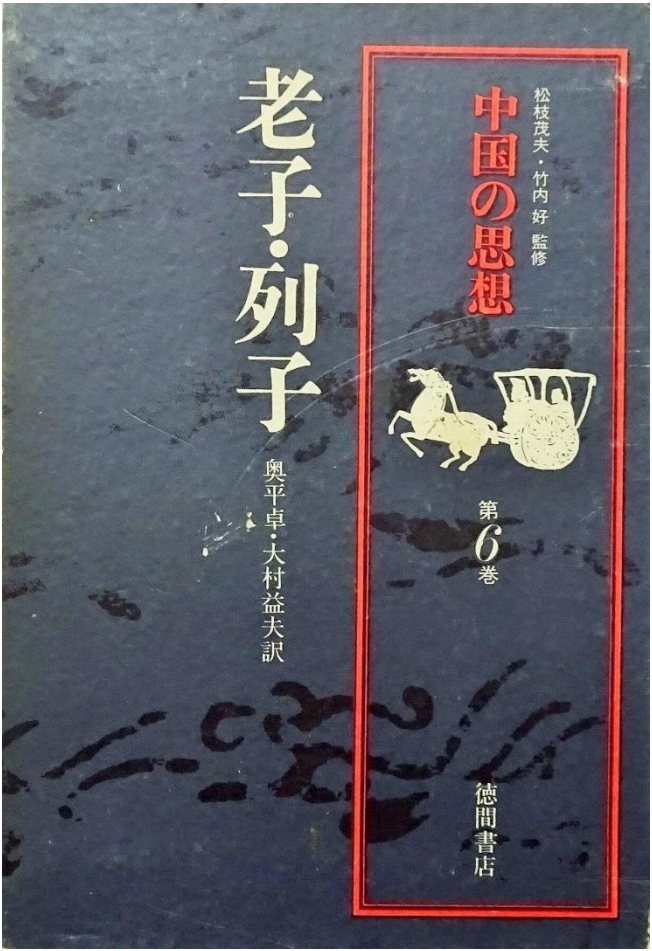
〇神風記　〇眼前神道案内大全　〇直毘霊
〇神道安心物語　〇神道明辯　〇神祇訓
〇神代巻風葉集　〇霊能真柱　〇国意考
〇天都詔詞太詔詞考　〇吉田松陰書翰　他

付録

〇歴代天皇御製　〇引用文献解題
〇神道概説　神道とは何か、歴史的あゆみ
神社、神職、祭祀、神道と日本人の生活

54-老子道徳経

著/老子　訳/奥平卓　徳間書店 1964 年



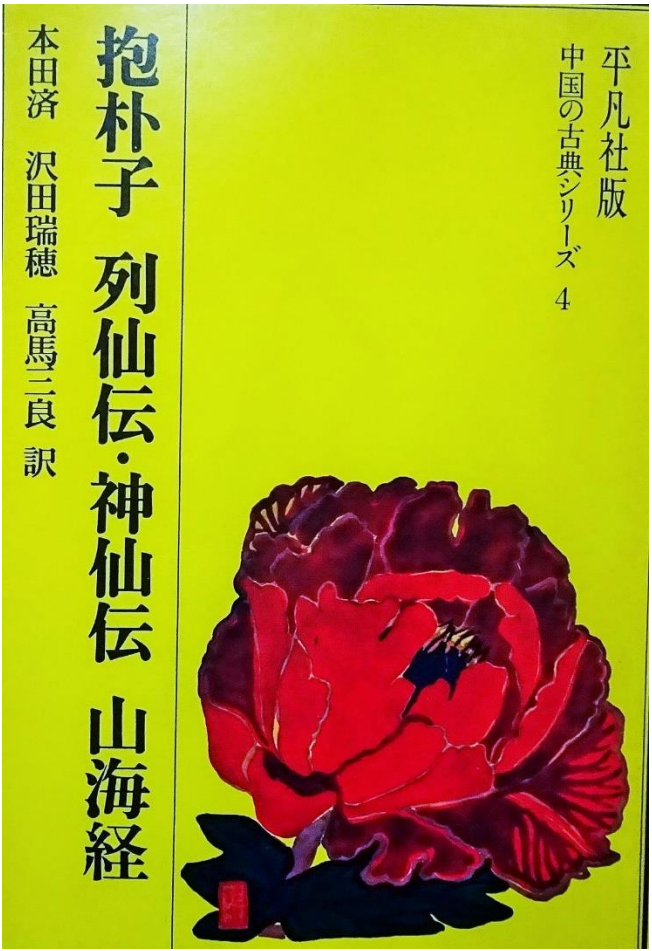
1-道可道　非常道　　2-有無相生ず
3-為無為　則無不治　　4-道は沖なれども
5-天地は不仁　　6-谷神は死なず
7-天長地久　　8-上善は水のごとし
9-功遂げて身退く　　10-営魄を載せ一を抱く
11-無の用　12-五色目を乱る　13-我身貴べむ
14-「道」のはたらき　　15-微妙玄通
16-根元に返る　　17-われ自ら然り
18-大道廃れ仁義あり　　19-絶聖棄智
20-学を絶てば憂なし　　21-不滅のｴﾈﾙｷﾞｰ
22-曲なれば全　　23-あるがままに
24-企つ者は立たず　　25-人もまた大なり
26-静は動を支配する　　27-自然な生き方
28-大制は割かず　　29-取ろうとせば失う
30-不道は早く已む　　31-兵は不詳の器
32-道は常に無名の樸　　33-死して滅びず
34-生ずれども辞せず　　35-淡として味なし
36-奪わんと欲せば与う　37-無為にして為す
38-上徳は徳とせず　　39-昔一を得たる者在
40-反は道の動なり　　41-道は隠れて名なし
42-陰を負いて陽を抱く　43-無有は無間に入る

44-欲すぎれば損をする　45-清静は天下の正
46-足るを知る　47-行かずして知る
48-無為にして自在　49-聖人は常心なし
50-出ずれば生,入れば死　51-道生之徳蓄之物形
52-明強の光を習常　53-盗賊のおごり
54-自律にまかせよ　55-無心の強さ
56-和光同塵　57-策にこだわるな
58-禍は福の倚るところ　59-農夫のごとく
60-鬼も神ならず　61-大国は天下の牝
62-道は万物の奥なり　63-為無為　事無事
64-千里の行は足下より　65-玄徳は大順に至る
66-統治者はへりくだる　67-慈、倹、先たらず
68-不争の徳　69-兵法の極意
70-ポロをきて玉を懐く　71-迷妄に陥らない
72-抑圧なき政治　73-天網恢恢
74-刑罰は無用　75-為政者の悪
76-兵強ければ滅ぶ　77-為而不恃功成而不処
78-弱は強に勝つ　79-天道常に善人に与す
80-わが桃源郷　81-信言は美ならず

※原典全 81 章には題字はない。ここでは訳者の付した題目と当書の内容から簡潔に題名を設定し掲載した。

55-抱朴子（列仙伝・神仙伝・山海経）

著者/葛洪　訳/本田済　平凡社 1973 年



【抱朴子内編】

01-暢玄　02-諭仙　03-対俗　04-金丹
05-至理　06-微旨　07-塞難　08-釈滞
09-道意　10-明本　11-仙薬　12-弁問
13-極言　14-勤求　15-雑応　16-黄白
17-登渉　18-地真　19-遐覧　20-祛惑

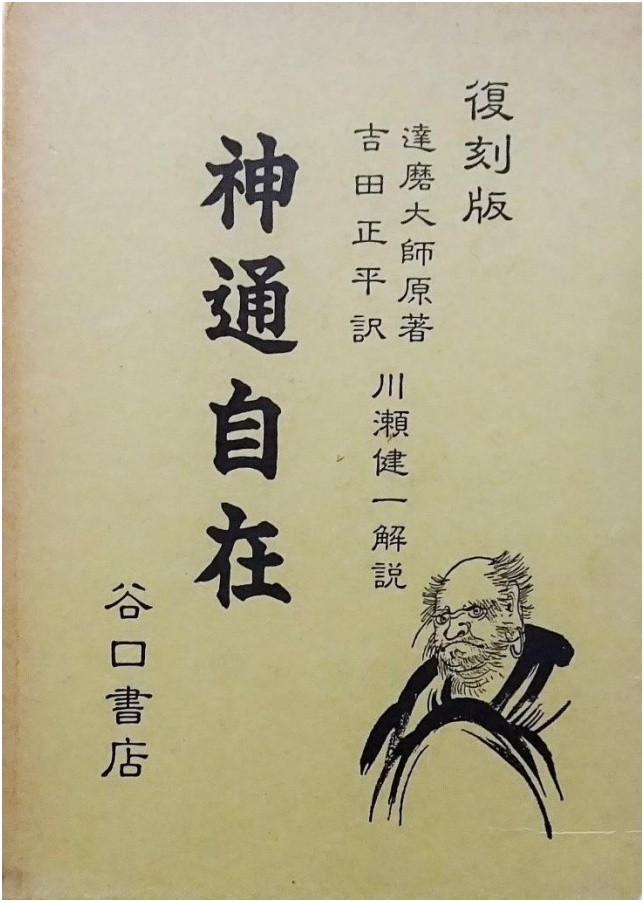
【抱朴子外編】

01-嘉遯　02-逸民　03-勖学　04-崇教
05-君道　06-臣節　07-良規　08-時難
09-官理　10-務正　11-貴賢　12-任能
13-欽士　14-用刑　15-審挙　16-交際
17-備闕　18-擢才　19-任命　20-名実
21-清鑒　22-行品　23-弭訟　24-酒誡
25-疾謬　26-譏惑　27-刺驕　28-百里
29-接疏　30-鈞世　31-省煩　32-尚博
33-漢過　34-呉失　35-守堉　36-安貧
37-仁明　38-博喩　39-広譬　40-辞義
41-循本　42-応嘲　43-喩蔽　44-百家
45-文行　46-正郭　47-弾禰　48-詰鮑
49-知止・窮達・重言　50-自叙

56-神通自在

著者/達磨大師　訳/吉田正平

谷口書店　復刻版 1989 年(1920 年)



【易筋経義】

01-易筋総論　02-膜論　03-内壮論
04-揉法　05-陰陽配合　06-功行軽重
07-功行浅深　08-内外説　09-功行禁忌
10-木槌杵式　11-石袋式　12-日精月華
13-心観じ本に返る　14-心洗い臓に退む
15-法輪自ら轉ず　16-根に帰り命に復す
17～22(各月功)　23-神氣を穴に凝らす術
24-睾丸玉莖功　25-動静四肢に入る論
26-動静十功　27-打洗して神通する功
28-動功十八勢　29-練手の餘功
30-神勇八段錦　31-神勇餘功

【服氣図説】

1-服氣行法の心得　2-順序　3-行功 64 式

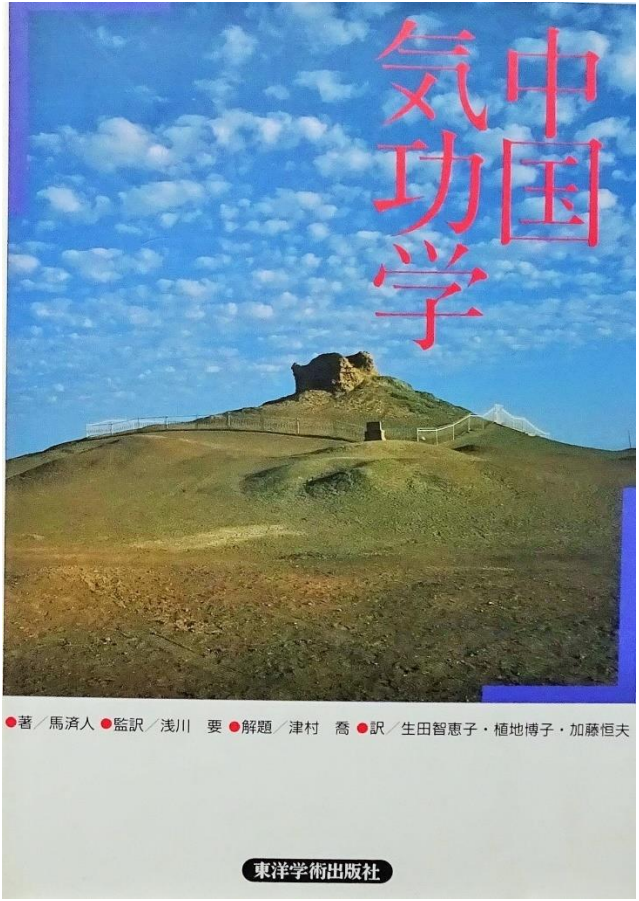
【洗髄経義】

1-総説　2-無始鐘氣
3-四大暇合　4-風聖同歸
5-物我一致　6-行住坐臥睡
7-髄を洗いて原に還る　（以上略記）

57-中国気功学

著者/馬済人　訳/浅川要、他

東洋学術出版社　1990 年



【気の系譜】

1-気功の概念と特徴　2-気功の発展史

3-気功と中医理論

・陰陽、臓腑、経絡、精・気・神

4-気功の基礎研究

・神経,呼吸,消化,循環,代謝,内分泌,外気,他

【気の練用】

5-静功鍛錬法（9 功法）

・姿勢･呼吸･意念,放松功,内養功,強壮功,他

6-動功鍛錬法（14 功法）

・保健功,和気功,易筋経,八段錦,老子按摩,他

7-練功の要領

・松静自然,動静結合,練養相兼,意気相衣,他

8-気功に関する問題

・姿勢,呼吸,用意,放,入静,感覚,運気,偏差,他

9-気功の臨床応用

【気の周流】

・大周天・小周天の鍛錬、止観法

58-黄金の華の秘密

著者/呂洞賓　　解説/和尚(ラジニーシ)

訳/SA モンジュ　めるくまーる 1999 年

内なる「黄金の華」を開花させる、
道家(タオイスト)の秘法を説き明かす。

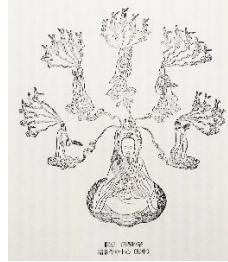
ユングが強い関心を抱き解説を書いた、道家の修行法の書『太乙金華宗旨』。そこに記された、内なる男性と女性の統合を成し遂げる瞑想とは？　タオとの合一の境地を自ら生きた和尚が、道家の秘法のなかの秘法へあなたを誘う。

01-催眠術を解く
02-燃えあがる茂み
03-アニムスとアニマ
04-光を輪のように巡らせる
05-開放の機縁
06-風景の焦点を変える
07-光の循環と呼吸
08-昏沈と散乱の克服
09-大地が明るい春を迎える
10-結晶する黄金の華
11-確証の体験
12-六月に白い雪が舞う
13-霊的な仙薬
14-空観、仮観、中観
15-かわず飛び込む水の音

太乙金華宗旨
原　典

01-天心
02-元神・識神
03-回光守中
04-回光調息
05-回光差謬
06-回光微験
07-回光活法
08-逍遥説
09-百日立基
10-性光識光
11-坎離交媾
12-周天
13-勧世歌

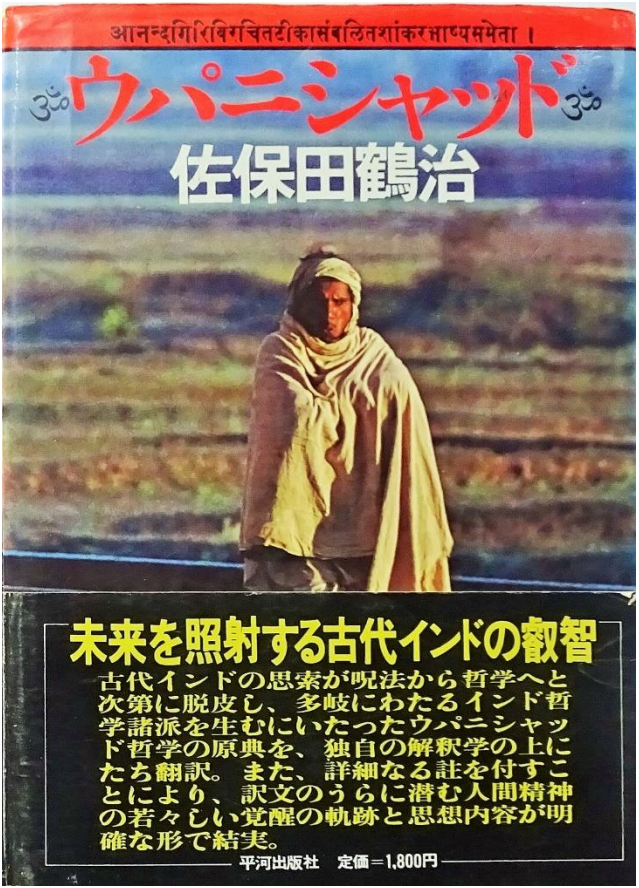
訳:CG ユング他



インド瑜伽(ヨガ)の技法

59-ウパニシャッド

訳者/佐保田鶴治　平河出版社　1979 年



【1-前期】

01-チァーンドーギァ

02-ブリハッド・アーラニァカ

03-カーウシータキ

04-アーイタレーヤ

05-ターイッティリーヤ

【2-後期】

06-ケーナ（タラヴァカーラ）

07-イーシァ（イーシァーヴァーシァ）

08-カータカ（カタ）

09-シヴェータシヴァタラ

10-ムンダカ

11-プラシナ

12-マーイトラーヤナ（マーイトリ）

13-マーンドゥーキァ

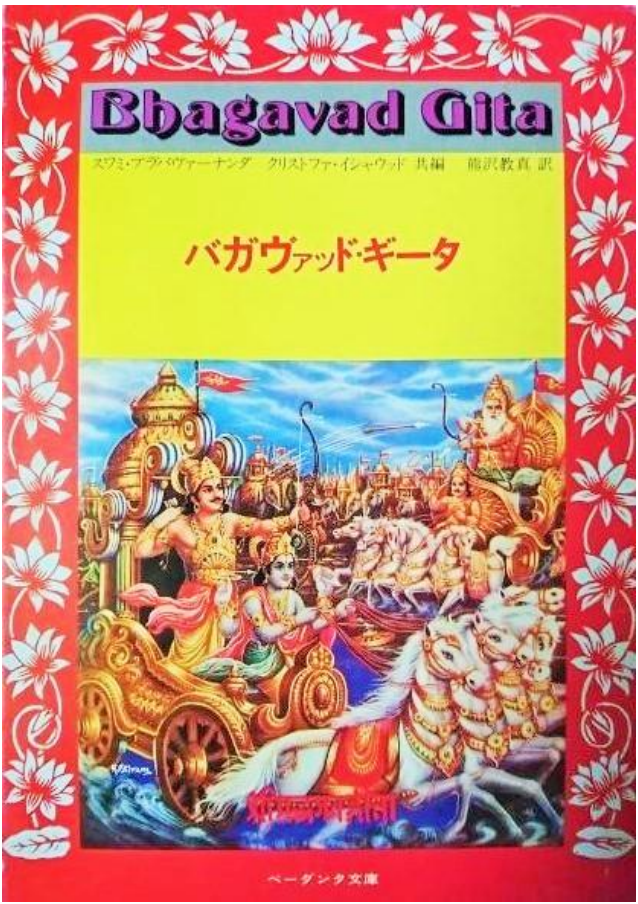
解題

मासो वै प्रजापतिस्तस्य कृष्णपक्ष एव
रयिः शुक्लः प्राणस्तस्मादेत ऋषयः शुक्ल
इष्टिं कुर्वन्तीतर इतरस्मिन् ॥ १२ ॥

60-バガヴァッド・ギータ

訳者/ﾌﾟﾗﾊﾞｳﾞｧｰﾅﾝﾀﾞ,ｲｼｬｳｯﾄﾞ,熊澤教眞

ヴェーダーンタ文庫　1970 年



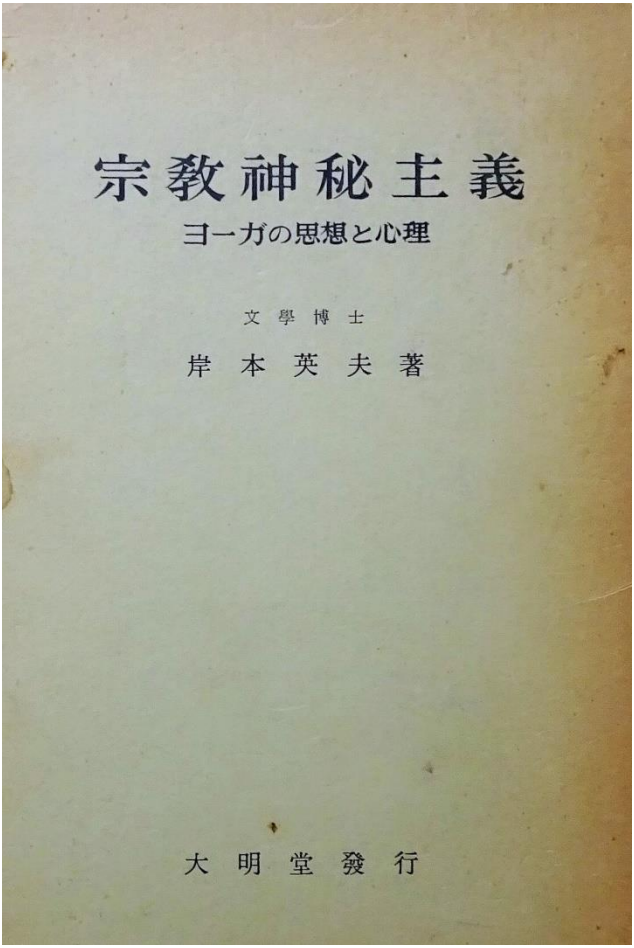
भगवद्गीता

01-アルジュナの悲哀
02-知識のヨーガ
03-カルマ・ヨーガ
04-知識による放棄
05-放棄のヨーガ
06-瞑想のヨーガ
07-知識と経験
08-永遠のブラーマンに至る道
09-神秘のヨーガ
10-神の栄光
11-普遍的な神の姿
12-献身のヨーガ
13-畑とそれを知る者
14-三種のグナ
15-最高者への献身
16-神性と魔性
17-三種の信仰
18-離欲のヨーガ
(巻末)永遠の哲学、ギータの宇宙論、他

※原典の和訳には翻訳者:辻直四郎(講談社)版がある

61-宗教神秘主義

著者/岸本英夫　　大明堂　　1958 年



宗教神秘主義

ヨーガの思想と心理

文學博士

岸本英夫著

大明堂發行

【序編】

1-宗教神秘主義の位置　人間の営み、他

2-宗教神秘主義の構成　神秘体験、他

【本編】

3-資料としてのヨーガスートラ

4-日常の環境における心　ヨーガ体系

・修行の素材としての心,心作用,煩悩,修行

5-修行の方法とその階梯　ヨーガ八支則

・禁・勧戒・坐法・調息・制感・執持・静慮・三昧

6-体験と境地

・心の進展の様相、知的把握の態度　他

7-ヨーガ思想の意義

・ブラクリティと現象、プルシャの性格　他

8-神霊と神通

・神霊(isvara)の問題、特殊能力-神通

【後編】

〇ヨーガスートラ邦訳

1-三昧品　2-実修品　3-自在品　4-独存品

62-ヨーガ根本教典

作/パタンジャリ、他　著者/佐保田鶴治

平河出版社　　1973 年

1-ヨーガ思想入門

・歴史、サーンキャ哲学、ヨーガ行法大系　他

2-解説ヨーガ・スートラ

【1】・ヨーガの定義　・真我　・心の作用

・修習と離欲　・自在神への記念

・心の清浄を得る方法　・定の定義と種類

【2】・行事ヨーガ　・煩悩　・煩悩除去の方法

・業、業遺存、業果　・一切皆苦

・除去すべきもの　・見る者と見られる者

・除去―解脱　・弁別智　・ヨーガの八部門

・禁戒と勧戒　・戒行実践の成果

・坐法　・調気法　・制感

【3】・凝念　・静慮　・三昧　・綜制

・心の転変　・転変の機構

・綜制から生ずる超自然力　・離憂-霊能

・至上離欲　・ターラカ　・真我独存の境地

【4】・超自然的能力　・転生・業と潜在記憶

・転変の存在的構造　・客観と主観二元性

・心と真我との関係　・真智発現―解脱へ

3-ハタ・ヨーガ・プラディーピカー

63-ヨガの真義

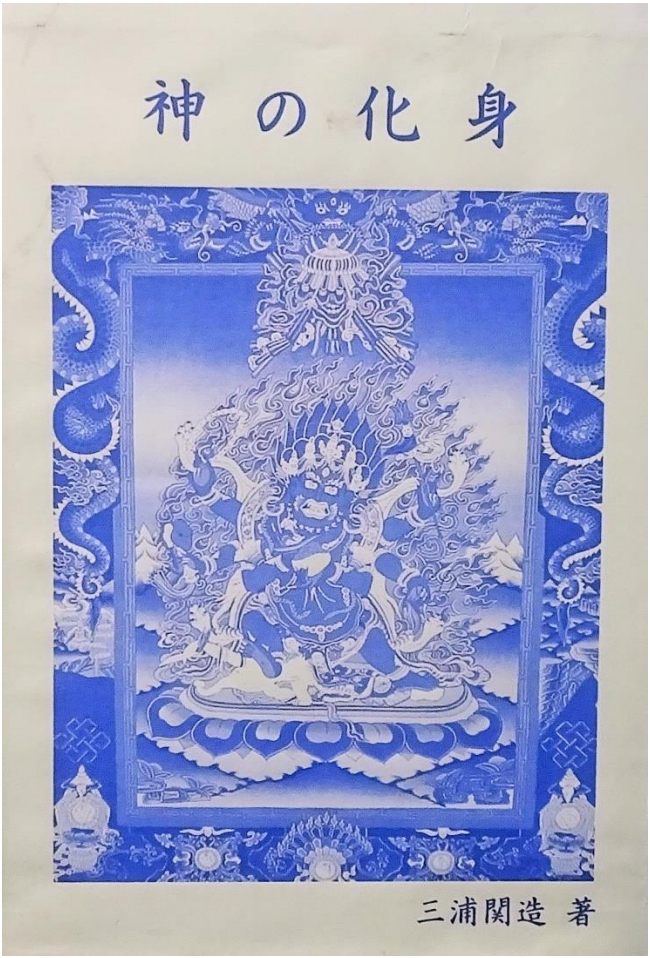
著者/M・ドーリル　訳/林鐵造

霞ヶ関書房　1976 年

01-ヨガ呼吸の科学
02-瞑想（沈黙・概念・集中・霊感・熟考等）
03-サハジヨガ
04-人間磁気（磁気力の神秘的力等）
05-集中とリラックス
06-真の祈りの秘密（霊的沈黙と瞑想）
07-完全な道
08-アカシックレコードとその読み方
09-宇宙意識と三昧と新時代
10-マントラムに関する意志と想念
11-バルド・マヤ・人生の輪
12-秘伝・啓示
13-意識と潜在意識の同調と第三の目
14-大聖者のことば
15-求道の段階
16-蓮華の宝石
17-個人意識より永遠意識へ
18-座法・呼吸・マントラム
・神秘科学における姿勢　・神秘解剖学
・呼吸　・体内神秘点

64-神の化身

著者/三浦関造　　竜王文庫　1954 年



01-至高者の話－バガヴァッドギーター－

02-統覚への道－四則

03-実際的綜合ヨガ

04-人体の神秘

・体内七天門・宇宙精神電力・視丘　他

05-呼吸の科学

・呼吸とプラナー・治療の呼吸・無呼吸状態

06-瞑想

・瞑想の力・ﾌﾟﾗﾅﾔｰﾏ・ﾀﾞﾗｰﾅ・ﾃﾞｨｱｰﾅ　他

07-大師の存在

・チベットの三大師・マイトレーヤー　他

08-ハイラーキーの史的事業

・650 万年前からのハイラーキーの事業

09-神智と法華経

・仏陀の大教訓・観念物質化と天人存在　他

10-シャンバラとサナート・クメラ及び秘伝

11-ウエサク祭

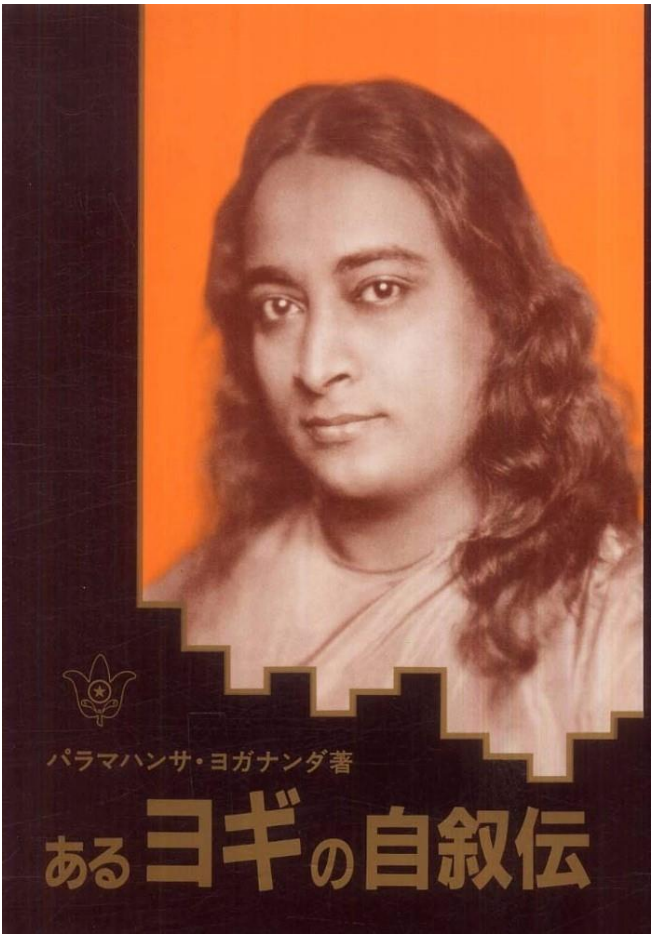
・神秘不可思議ヒマラヤ高原の異象と祝福

12-天人種と人類の協力時代

・天人種の緊急決議、新団体の二大機能　他

65-あるヨギの自叙伝

著者/ヨガナンダ　　森北出版　1983 年

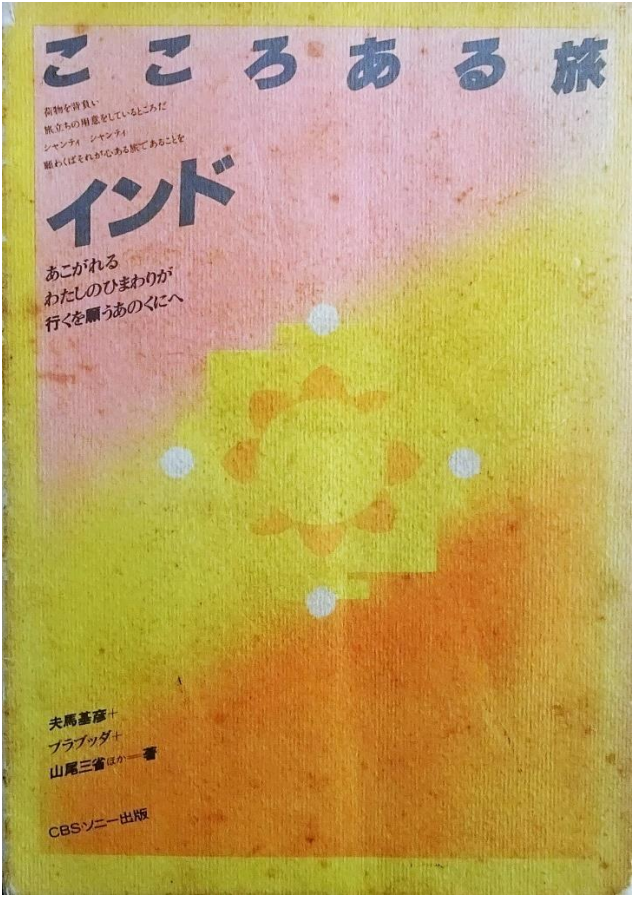


○両親と幼年時代
○ヒマラヤ逃亡計画の失敗
○二つの肉体をもつ聖者（ｽﾜﾐ･ﾌﾟﾗﾅﾊﾞﾅﾝﾀﾞ）
○奇跡を見せ物にする香りの聖者（ｶﾞﾝﾀﾞﾊﾞﾊﾞ）
○タイガー・スワミ
○空中に浮揚する聖者（ﾅｹﾞﾝﾄﾞﾗ･ﾅｰﾄ・ｳﾏﾄﾘ）
○インドが生んだ大科学者ジャガディス
○宇宙の母と愛を語らう至福の聖者（ﾏﾊｻﾔ）
○わが師スリ・ユクテスワにめぐり会う
○眠らぬ聖者（ﾗﾑ･ｺﾞﾊﾟｰﾙ･ﾑｽﾞﾝﾀﾞｰ）
○宇宙意識を経験する
○運星をかわす
○回教徒の魔法使い（ｱﾌｻﾞﾙ･ｶｰﾝ）
○カシミール旅行
○クリヤ・ヨガの科学
○タゴールと教育の理想を語る
○奇跡の法則
○ババジー現代インドのヨギ・キリスト
○ヒマラヤ山中に宮殿を物質化する
○ラヒリ・マハサヤのキリストのごとき生涯
○ルーサー・バーバンク（ばらの中の聖者）
○西洋に対するババジの関心
○カトリックの聖痕女テレーゼ・ノイマン
○ワルダーにマハトマ・ガンジーを訪ねる
○断食五十年の女ヨギ（ギリバラ）　　他

66-こころある旅インド

著者/馬夫基彦、プラブッダ、山尾三省

CBS ソニー出版　1977 年



【1-インド体験の意味するもの】　巡礼　他

【2-インドに触れる】

・出会いのアラップ・サドゥーとの出会い

・ヒマラヤのとき・未来都市オーロビンド

・遺跡からの波動・天上の街にて

・老いと死・仏足石への旅

【3-インドそのこころ】

・ラーマクリシュナ　神を求めるのですか？

・ヴィヴェカーナンダ　智･愛,物･精神の合一

・タゴール　ありのままに生きる

・ガンディー　当然のことを実行する意志の力

・オーロビンド　進化の流れに乗り自由に生く

・ラマナマハリシ　私は誰か？

・ダライラマ　心の平和

・マヘッシヨギ　自分自身を超えて見ること

・クリシュナムルティ　あるがままの人間へ

・ラジニーシ　何処にも行かないこと

・どこにもいないグル、アシュラムへの道

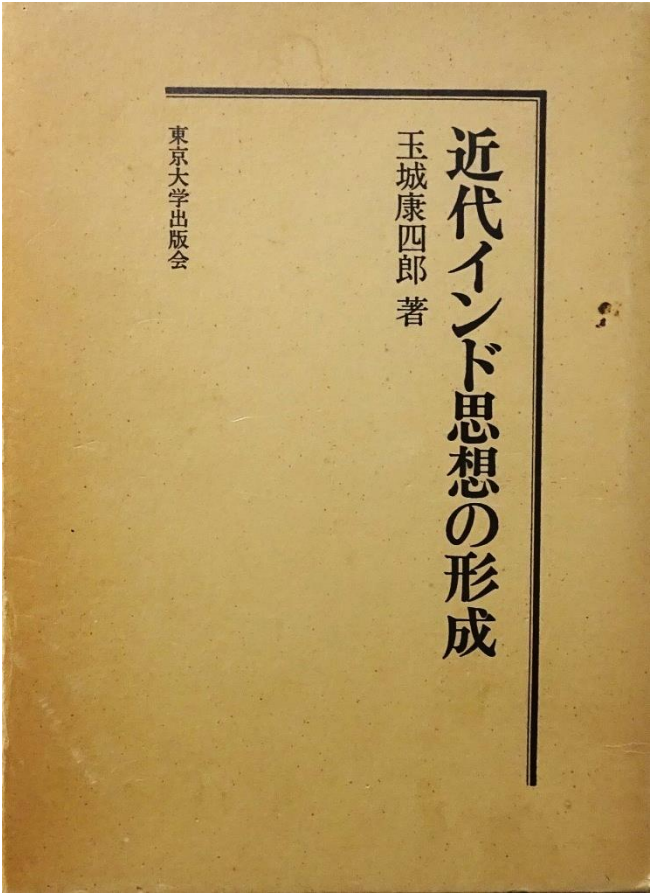
【4-インドその宇宙観】

・インド古典、宇宙船団ダルマとの出会い

67-近代インド思想の形成

著者/玉城康四朗

東京大学出版会　1965 年



【1-近代インド思想の展開】

1-近代インド思想の諸要素

・ブラーフマ協会、アーリヤ協会他

2-民族意識と宇宙意識・超越意識

・オーロビンド,ヴィヴェカ,タゴール他

3-外来思想によるインド思想の変容

・神智思想、クリシュナムルティ他

4-近代インド思想の回顧と展望

【2-ヴィヴェカーナンダの思想】

1-実践の道（カルマ・ヨーガ）

2-信愛の道（バクティ・ヨーガ）

3-心身統一の道（ラージャ・ヨーガ）

4-智慧の道（ジュニャーナ・ヨーガ）

【3-オーロビンドの思想】

1-哲学の立場

・内在的世界（物質、生命、心）

・超越的世界（実在、意識、歓喜）

・絶対者（アートマン、プルシャ、神）

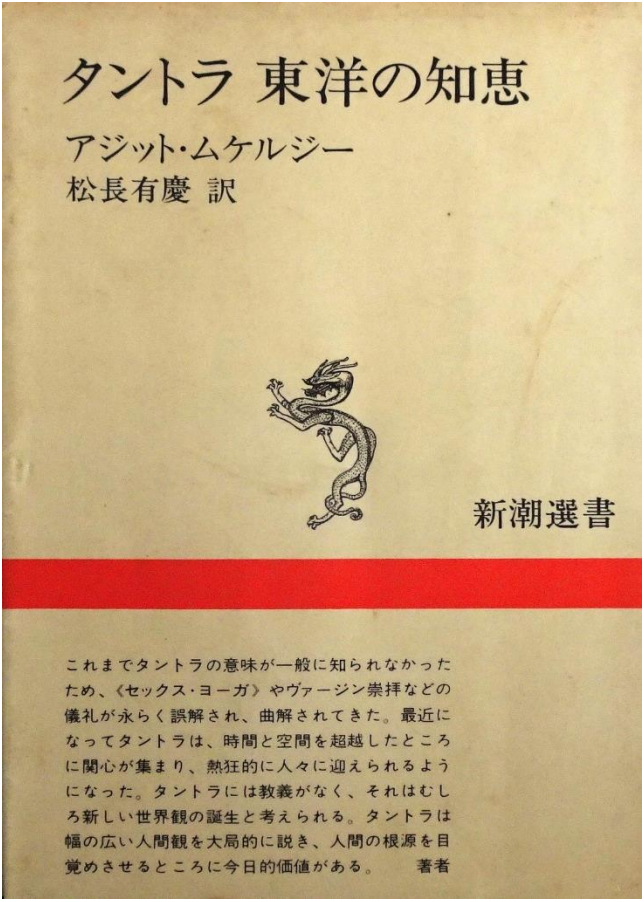
・人間存在の迷妄（無知、虚偽、悪）

2-ヨーガ論（構成要素、自我、三性質問題）

68-タントラ東洋の智恵

著者/Ａムケルジー　訳･著/松長有慶

新潮社　1981 年

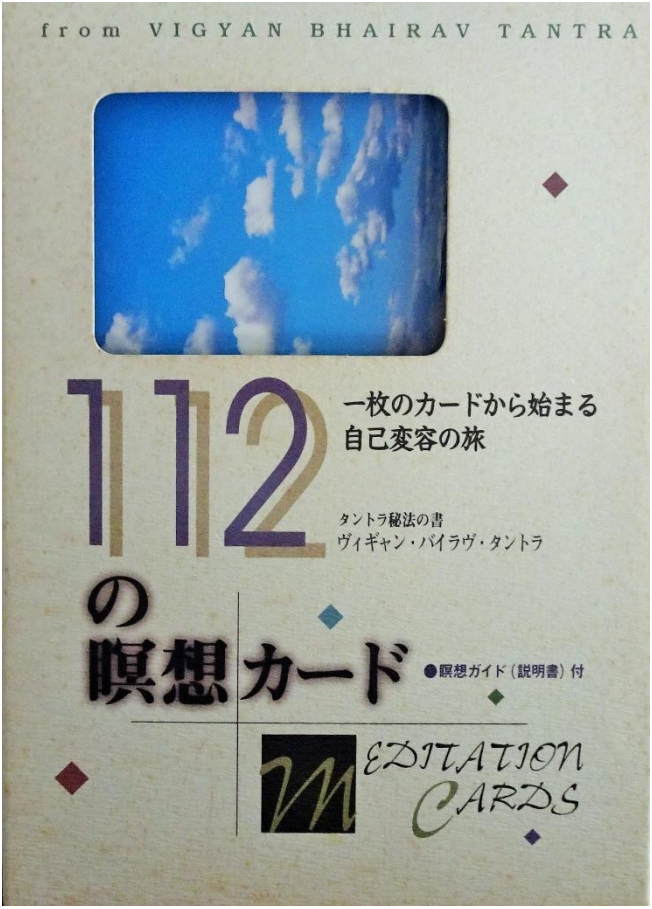


00-タントラの夜明け
01-インド文化の背景
02-タントラとは何か
03-世界をどう見るか
04-ヤントラとマンダラ
　・人間と宇宙、振動音、リンガとヨーニ等
05-人体七つのサイキック・センター
　・クンダリニー、チャクラの花弁の意味等
06-セックス・ヨーガ
　・交合ヨーガ、女性はシャクティの化身等
07-宇宙の神秘を読みとる
08-タントラの特質
09-仏教タントラとは
　・諸仏･菩薩･明王･諸天はインド神の生変等
10-仏教マンダラ
11-ヨーガの技法
　・禅定･王･実践･智恵･信仰･火力･真言ﾖｶﾞ等
12-タントラとセックス
　・宇宙と人間の融合、般若と方便の合一等
13-鑑賞できないタントラ美術

69-タントラ秘法の書（112 の瞑想ｶｰﾄﾞ）

著者/和尚(ラジニーシ)　訳/田中ぱるば

市民出版社　1998 年



和尚講話録タントラ秘法の書全十巻　(112の瞑想技法集カードNo.)

01-内なる宇宙の発見　(1～12)

ヨガとタントラの違い、夢の超越、やすらぎの技法　他

02-源泉への道　(13～24)

センタリング技法、ハートセンター開発、愛の源泉　他

03-第三の眼　(25～36)

七つの見る瞑想技法、第三の眼を開く、ブッダの愛　他

04-沈黙の音　(37～47)

音なき音－完全なる覚醒、マインドを落とす技法　他

05-愛の循環　(48～63)

宇宙的オーガズム、内側の真実、世界という心理劇　他

06-覚醒の深みへ　(64～72)

タントラ覚醒法、愛と解放の秘密、欲求からの自由　他

07-光と闇の瞑想　(73～83)

根源へ向かう、存在への回帰、エゴを明け渡す　他

08-存在とひとつに　(84～91)

カルマを越えて、全体と一つに、今こそがゴール　他

09-生の神秘　(92～99)

独り在ること、無思考の瞬間、未知なる自分　他

10-空の哲学　(100～112)

生と性エネルギー、内なる道案内、空の体験　他

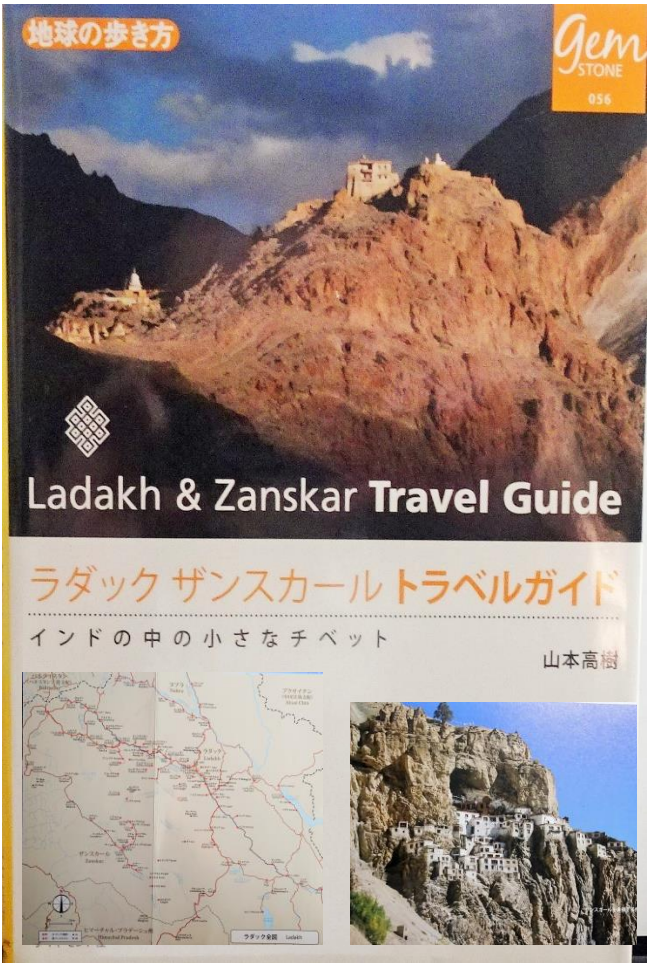
70-インド後期密教

編著者/松長有慶　　春秋社　2006 年

【方便・父タントラ系の密教】
序/忿怒の仏が放つ宇宙エネルギー
1-真実摂経…後期密教の源流
2-秘密集会タントラ…欲を生かし育てる
3-幻化網タントラ…迷いの幻網を打ち破る
4-ヤマーリ・タントラ等…呪殺の冥王たち
5-ナーマサンギーティ…読経から瞑想へ
6-ドゥルガティパリショーダナ…死者救済
7-サーダナマーラー…成就法の花環
8-阿闍梨所作集成等…インド密教儀礼集大成
【般若・母タントラ系の密教】
序/人間の生命力と宇宙エネルギーの共鳴
1-サマーヨーガ・タントラ…般若・母の原型
2-ヘーヴァジュラ・タントラ…聖と性の饗宴
3-チャクラサンヴァラ・タントラ…聖地身体
4-ブッダカパーラ・タントラ…髑髏が経吐く
5-マハーマーヤー・タントラ…男神形の女神
6-チャトゥシュピータ・タントラ…死を転化
7-サンプタ・タントラ…温故知新
8-カーラチャクラ・タントラ…仏教の総決算

71-ラダック・ザンスカール

編集/山本高樹　　ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ社　2012 年



01-ラダック、ザンスカールとは　　02-レー

03-チベット仏教の基礎知識

04-上ラダック

ストク、シェイ、ティクセ、スタクナ、マトヘミス、チェムレ、サクティ　他

05-下ラダック

スピトク、ビャン、バスゴ、リキル、サスポルアルチ、スムダ、マンギュ、リゾン、ラマユルティンモスガン、ワンラ、フォトクサル　他

06-ヌブラ

デスキット、フンダル、トゥルトゥク　他

07-トレッキングでラダックを旅する

08-パンゴンツォ他　09-ダー・ハヌー、スル他

10-ザンスカール

バドゥム、サニ、カルシャ、ザンラ、ストンゼゾンクル、バルダン、プクタル、リンシェ　他

11-ラダックを旅するために

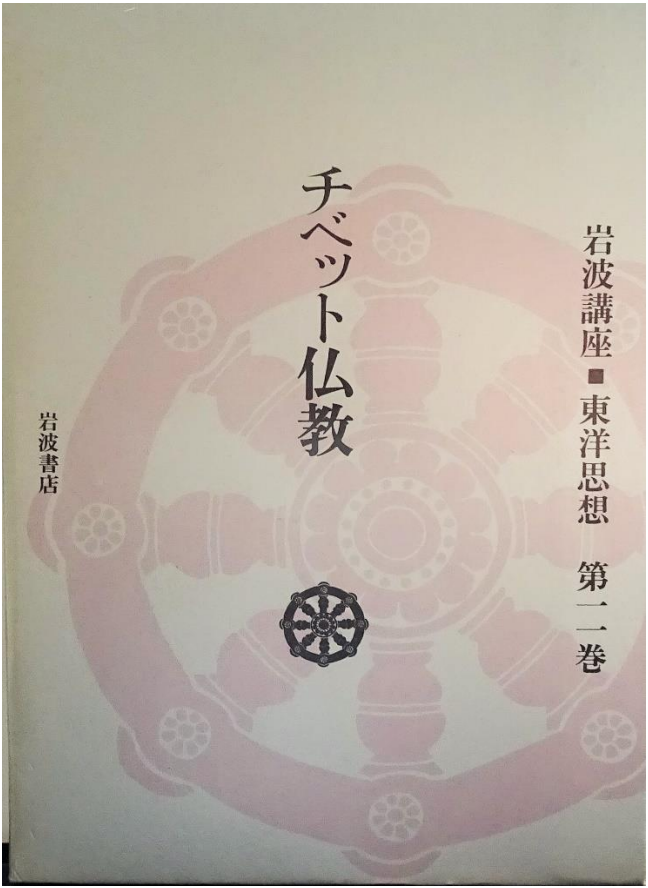
道程、プラン、季節、装備、旅行会社、書籍 Web 交通、宿泊、飲食、通信、マナー、民族　他

※インドのラダック地方には密教寺院(ゴンパ)が数多く存在する。旅には最新情報の確認が必要。ゴンパの内観については「旅行人ウルトラガイド・ラダック(高木辛哉)」に詳しい。

チベット密教の秘術

72-チベット仏教

著者/長尾雅人　他　岩波書店　1989 年



【Ⅰチベット仏教思想史】

1-チベット仏教概観　2-チベット仏教思想史

【Ⅱチベット仏教思想の展開】

1-チベットにおけるインド仏教の継承

2-サキャ派

・始祖たち、道果説、金剛偈の道果説

3-カギュ派

・源泉、シャンパ派とタクポ派(ﾏﾙﾊﾟ・ﾐﾗﾚﾊﾟ)他

4-チョナン派と如来蔵思想

・教義と位置、如来蔵思想を巡る議論　他

5-シチュ派

・断境説、獅子の遊戯、空行母教誡　他

6-ツォンカパとゲルク派

・離辺中観説、縁起説の擁護、総括的批判　他

7-ニンマ派と中国禅

・ゾクチェン、心の教義、中国禅の影響、秘訣部他

8-チベットの密教

・パドマサンバヴァ・ヴィマラミトラ・アティーシャ

・ヴァイロチャナ・リンチェンサンポ・マルパ　他

【Ⅲチベット仏教思想の特質】

1-大蔵経の編集　2-学問寺　3-敦煌との接点

73-チベット密教

著者/田中公明　　春秋社　1993 年

【序】チベット密教とは何か

【1-歴史・人物編】

1-インドの密教　2-伝播と定着

3-四大宗派成立　4-各宗派の現況

〇リンチェンサンポ゜　〇アティーシャ

〇マルパ　〇プトゥン　〇ツォンカパ

【2-文献・教理編】

1-密教聖典分類法　2-秘密集会タントラ

3-ヘーヴァジュラ　4-サンヴァラ

5-時輪タントラ　6-ギュウデ･ﾁｰﾅﾑ

7-ニンマ派の典籍　8-ガクリム

【3-尊格・美術編】

1-尊格の分類法　2-チベットの曼荼羅

3-守護尊　4-ツォクシン

【4-儀礼・実践編】

1-生起次第　2-究竟次第

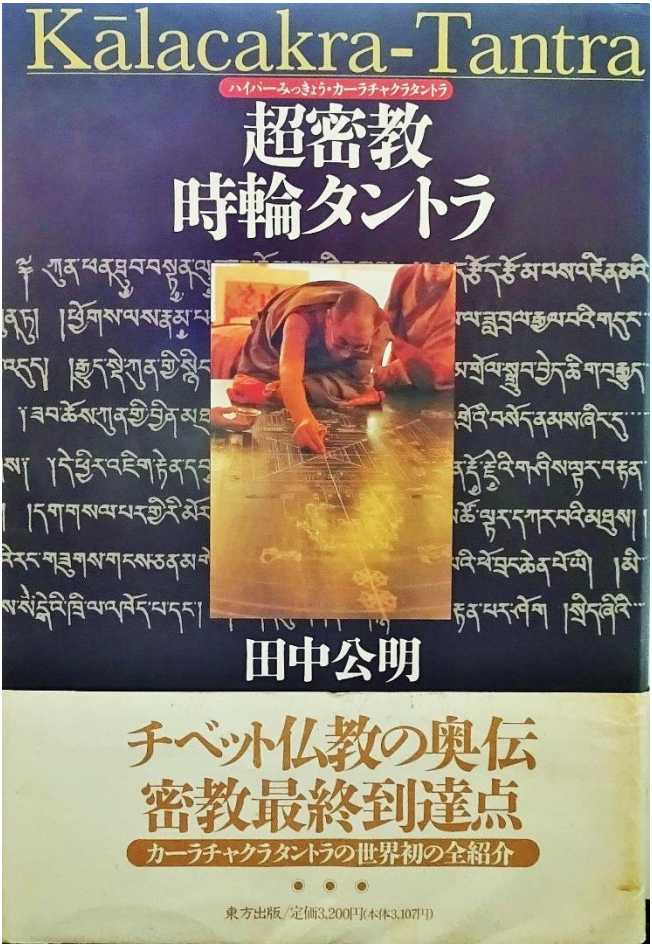
3-灌頂　4-護摩

5-大印の秘法　6-ナーローの六法

7-チュー

74-超密教時輪タントラ

著者/田中公明　　東方出版　1994 年



序)時輪タントラとは何か 吉祥最勝本初仏タントラ

（世間品・内品・灌頂品・成就品・智慧品）

01-曼荼羅の生成理論

02-コスモロジーと曼荼羅

03-神秘のモノグラム-ナムチュアンデン

04-シャンバラ伝説-隠された王国と最終戦争

05-曼荼羅の身体論

・五輪、チャクラ、四空･四感歓喜、楽空　他

06-密教における受胎と胎児論-内品

・生理学、輪廻転生、受胎、胎児、外･内･別他

07-密教におけるイニシエイション灌頂

08-ﾐｸﾛｺｽﾓｽとﾏｸﾛｺｽﾓｽの完全なる対応

・身口意具足時輪曼荼羅、大楽輪、須弥山　他

09-密教における絶対者のイメージ

・守護尊カーラチャクラ、忿怒尊、父母仏　他

10-臨死体験と曼荼羅

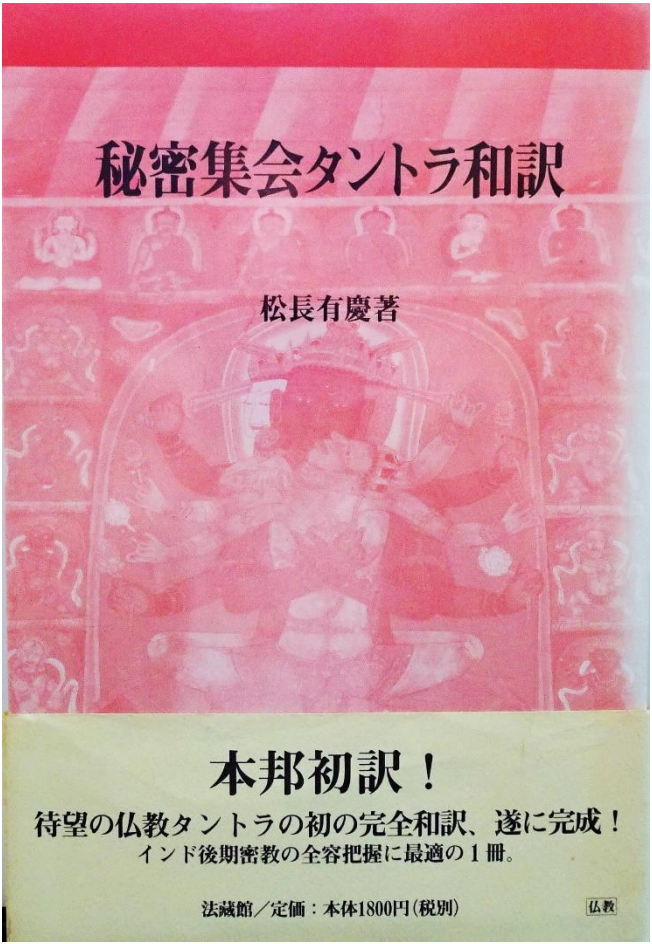
・五相、ヴィマラプラバーの夜と昼のヨーガ他

11-不変楽と身体のｱﾙｹﾐ-的変容

・仏身、成仏、密教の生理学説、六支瑜伽　他

75-秘密集会タントラ和訳

訳著者/松長有慶　　法蔵館　2000 年



01-一切如来が三摩地に入り曼荼羅加持する
02-菩提心について
03-金剛の荘厳と名づける三摩地について
04-一切如来の心曼荼羅について
05-普遍なる行の最上なるものについて
06-身語心の加持について
07-最勝なる真言行について
08-心の三味耶について
09-勝義諦である不二の真実義の三味耶
10-一切如来の心髄を勧発する
11-一切如来の真言の三味耶であり、真実でもある金剛明呪の最上丈夫について
12-三味耶を成就する最勝を説く
13-金剛三味耶の荘厳,真実義を観想より悟る
14-身語心の不思議なる真言を鉤召する奮迅王と名づける三摩地
15-一切心の三味耶の精髄・金剛より出生した
16-一切悉地の曼荼羅・金剛を現等覚するもの
17-一切如来の三味耶と律儀・金剛の加持
18-一切の秘密の法門である金剛智の加持

76-秘密集会タントラ概論

著者/ヤンチェン・ガロ　訳著/平岡宏一

法蔵館　2018 年

解説)聖者流と随順する密教の十地・五道

【1-道の進み方】

〇一般的な説明（乱れた濁世と秘密集会伝承等）

〇無上瑜伽の道の二次第の進み方

1-生起次第

・心と風(ﾙﾝ)(微細な根源的意識-不滅の滴)

・輪廻(生･死･中有)を利用する成仏過程

・生起次第の成満　　・観想領域

・楽・空・楽空無別の智慧

2-究竟次第

・定寂身(各摂･静慮、全てを仏として観想)

・定寂語(中央脈管深くに風を入れる方便)

(胸/真言,眉間/光,秘所/物質の滴)

・定寂心(全身に行渡る意識の乗物･遍満風)

(全身を収斂する瞑想、塊取･随滅)

(成就法の女性ﾟ-ﾄﾅ-/羯磨･智印)

(羯磨印と性的瑜伽を実践する)

(死ぬ際のｳﾞｨｼﾞｮﾝ、三智と三空)

・幻身・勝義の光明・通達の双入・成仏

【2-十地等と五道の設定方法】　　他

77-チベット密教の神秘

著者/正木晃・立川武蔵　　学研　1997 年

1-謎のコンカルドルジェデン　四大宗派　他

2-姿をあらわしたイダム(守護尊)

タントラの波動、性的ヨーガ、ダーキニー

・霊的空間への序章(南壁)

ヴァジュラダーカ、ヤンタク･トゥク　他

・父タントラの道(西壁)

ヤマリ,ヤマンタカ､グヒヤサマージャ　他

・母タントラの道(東壁)

ブータダーマラ、マハーマーヤー　他

・至高の霊的空間(北壁)

カーラチャクラ、ヘーヴァジュラ　他

3-ヘーヴァジュラ・マンダラの観想法

1-準備としての瞑想法

・三宝帰依、ヘールカ・八女神の出現　他

2-器としてのマンダラの観想

・空性の瞑想、守護輪･八尸林の出現　他

3-中尊ヘーヴァジュラの瞑想

・ヘーヴァジュラ出現､八ダーキニー　他

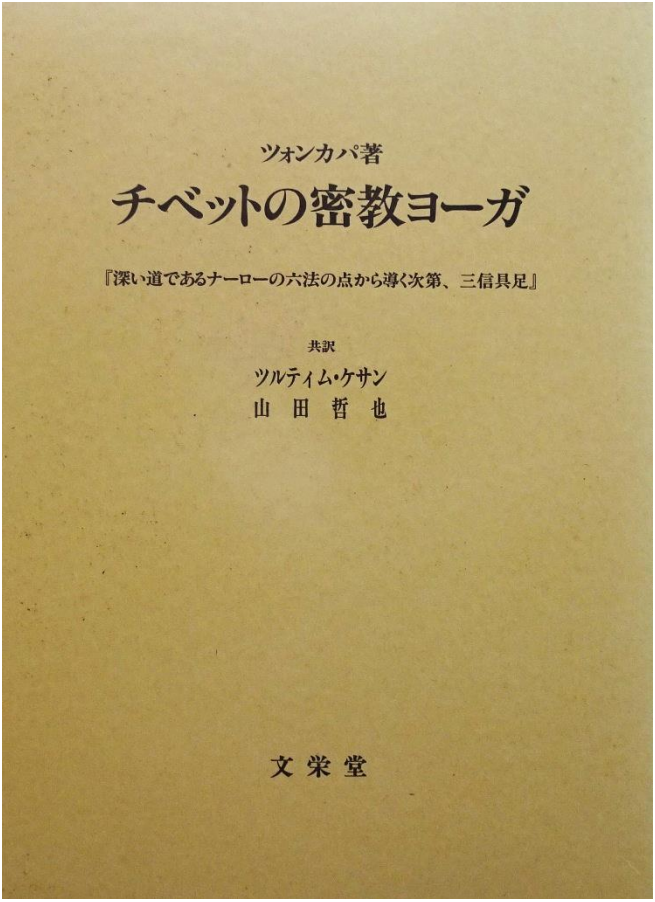
4-身体マンダラとしての宇宙

・瞑想法とは何か

78-チベットの密教ヨーガ

著者/ツォンカパ　訳/ﾂﾙﾃｨﾑ･ｹｻﾝ　他

文榮堂書店　1999 年



ツォンカパ著

チベットの密教ヨーガ

『深い道であるナーローの六法の点から導く次第、三信具足』

共訳

ツルティム・ケサン

山田哲也

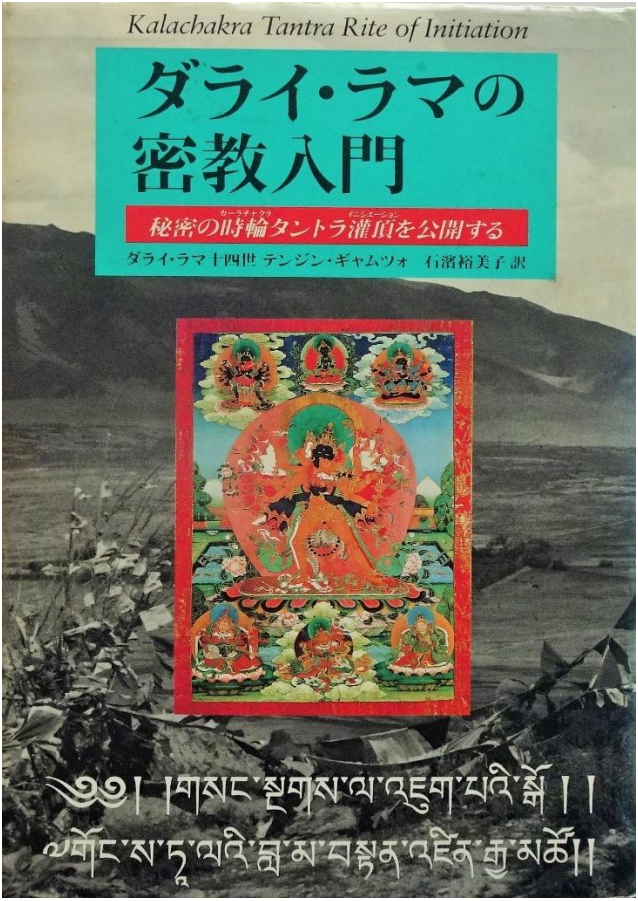
文栄堂

序(1)ナーローの六法とカギュ派の思想
　(2)ミラレパの伝記と十万歌の影響　他
【何かに依止して後、この道を修習する加行】
〇波羅蜜乗・真言乗・無上瑜伽乗、灌頂
〇金剛薩埵の瞑想・念誦、グルヨーガの修習
【それに依止してこの道を如何に修習するか】
〇生起次第・究竟次第を修習すること
〇元であるもののあり方、道を進む次第
〇チャンダリーの火を観想する仕方
　・生命活動を中央脈管に入れ四歓喜を生起
　・脈・文字・風の観想、止めて溶かす
　・火が燃える仕方、菩提心(精液)がとける
　・具生の智慧、羯磨印によって観想する
〇現れたものを幻として観想する仕方(ｷﾞｭﾙ)
〇夢の真実を観想すること(ﾐﾗﾑ)
　・夢は息風の力で保ち、願いの力で捉える
〇中有の幻を観想する仕方(ﾊﾞﾙﾄﾞ)
〇光明を観想する仕方(ｳｰｾﾙ)
〇上に引き抜く還移(ﾎﾟﾜ)と入街(ﾄﾝｼﾞｭｸ)
〇道を効果的にする方便行、結果現前　他

79-ダライ・ラマの密教入門　kalachakra

著者/ダライ・ラマ 14 世　訳/石濱裕美子

光文社　1995 年



〇カーラチャクラ・タントラについて

1-仏陀の境地への招待

・秘密郷シャンバラの王が書いたタントラ

・神秘の十文字　　・四つの滴が司る意識

2-カーラチャクラ尊の胎内に宿る

・動機を正しくする　・祈願を行う

・清浄なる菩薩の戒、三昧耶戒を授かる

・弟子を祝福(加持)する　・仏の一族　他

3-仏の宮殿の秘密を見る

・カーラチャクラの装束を身にまとう

・欲望を利用する　・輪廻をもたらす悪行

・月輪の瞑想によって悟りの心を育む

・あらゆる方角から仏が降臨する　　他

4-七つのイニシエーションを授かる

1-水のｲﾆｼｴｰｼｮﾝ　　2-宝冠のｲﾆｼｴｰｼｮﾝ

3-絹ﾘﾎﾞﾝのｲﾆｼｴｰｼｮﾝ　4-金剛杵・金剛鈴

5-行動のｲﾆｼｴｰｼｮﾝ　　6-名前のｲﾆｼｴｰｼｮﾝ

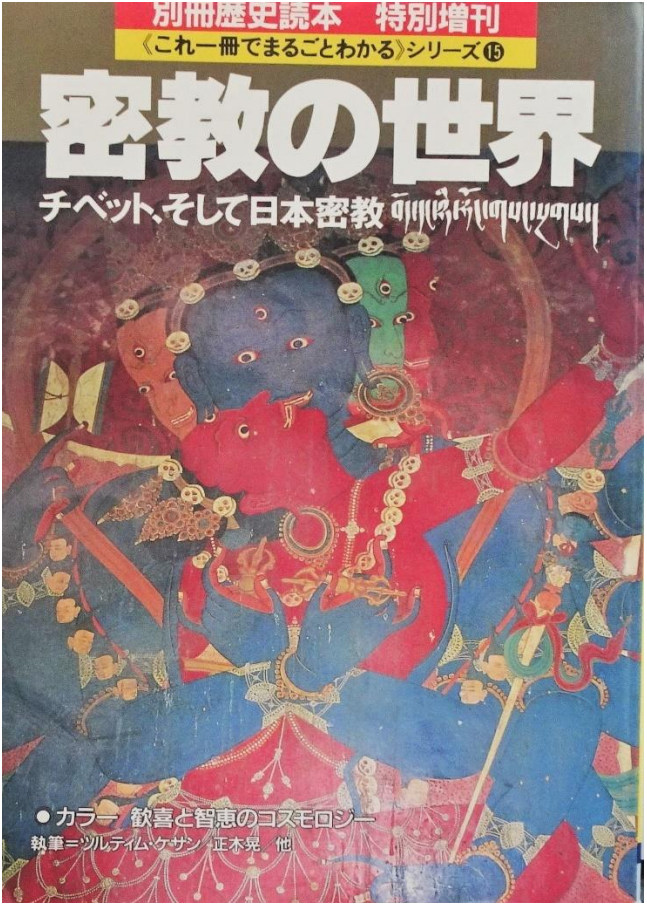
7-許可のｲﾆｼｴｰｼｮﾝと付加の儀式

(四授け/真言・目薬・鏡・弓と矢)　　他

80-密教の世界

著者/ツルティム・ケサン、正木晃、他

新人物往来社　1994 年（別冊歴史読本）



1-密教の歴史（インド～チベット～日本 他）

2-巨人空海（悟りの道,万能の天才,霊的覚醒　他）

3-日本の密教（真言,天台,浄土,立川流,神道,修験他）

4-チベット密教（ツォンカパ,性瑜伽,死者の書他）

5-教義・経典　日本…大日経・金剛頂経

　チベット…秘密集会・ﾍｰﾞｧｼﾞｭﾗ・ｻﾝﾞｧﾛｰﾀﾞﾔ

6-秘術・行法（日本①～⑦、チベット⑧～⑬）

①入我我入…大宇宙の真理との合一

②五字厳身観…宇宙空間に聳え立つ大ストゥーパ

③五相成身観…仏陀の悟りを追体験し真理を顕現

④月輪観…月に変容するホトケと我

⑤虚空蔵求聞持法…読誦百万遍・記憶力増大の法

⑥星宿法…星の力に願った現世利益

⑦五壇法…五大明王に祈願した怨霊調伏の修法

⑧秘密集会聖者流…究極の状態・幻身と光明

⑨ナーローの六法…性瑜伽・夢等六法で得る解脱

⑩カギュー派…心の本質を悟る大印契(ﾏﾊｰﾑﾄﾞﾗｰ)

⑪サキャ派…四灌頂を通し能力を開発する道果説

⑫ニンマ派…虹の身体を成就する大究竟(ｿﾞｸﾁｪﾝ)

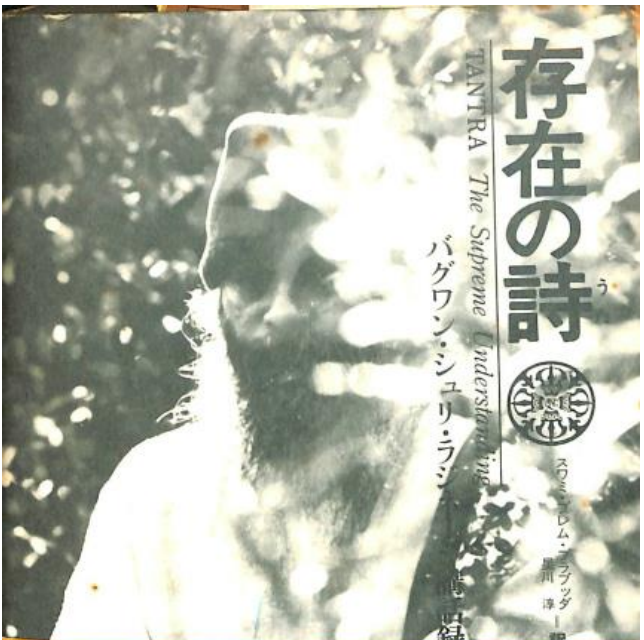
⑬ゲルク派…厳しい戒律を守る僧侶の生活

7-密教のアナザワールド　　8-資料編

81-存在の詩　TANTRA The Supreme Understanding

著者/バグワン・シュリ・ラジニーシ

訳/プラブッダ　めるくまーる社 1977 年



チベットタントラ仏教不滅の名篇「マハムドラーの詩」を題材に，現代インドの巨星バグワン・シュリ・ラジネーシが奔放自在に繰りひろげる究極の詩。仏陀の知慧，イエスの愛，クリシュナの戯れ，達磨の覚醒，老子のやすらぎのかなた，光たゆたう存在の大洋にあなたは還る……。

めるくまーる社刊　0015-77108-8326　定価1500円

海からの風　　（マハムドラーの詩/ティロパ）

01-マハムドラー…最後の究極の体験

02-心とは実在なのか、プロセスなのか

03-光と闇の本性について

04-行為と行動のデリケートな違い

05-タントラは偉大なイエスマンだ

06-意志の道ﾖｰｶﾞ、愛と降参の道ﾀﾝﾄﾗ

07-あのね、それ両方もらうよ!

08-鏡になる

09-自分の靴ひもをひっぱって空に昇れるか

10-大いなる海―終わりなき旅の終わり

82-チベットの偉大なヨギー・ミラレパ

訳編/おおえまさのり　めるくまーる社

1980 年　(原題:ジェツン・カンブム 12 世紀)

ཇེ་བཙུན་པཎ་ཆེན་རབ་བྱུང་

(序)ダライ・ラマ　　(編者)目覚めへの道

【1-無明の道】

01-家系と誕生

02-惨苦

03-黒魔術の修行

【2-光明の道】

04-聖なるダルマの希求

05-試練と苦行

06-奥義伝授

07-グルの導き

08-グルからの出離

09-放棄

10-寂静の地での瞑想

11-修行の地と有情の済度

12-ニルヴァーナ

〇付記　　〇奥付

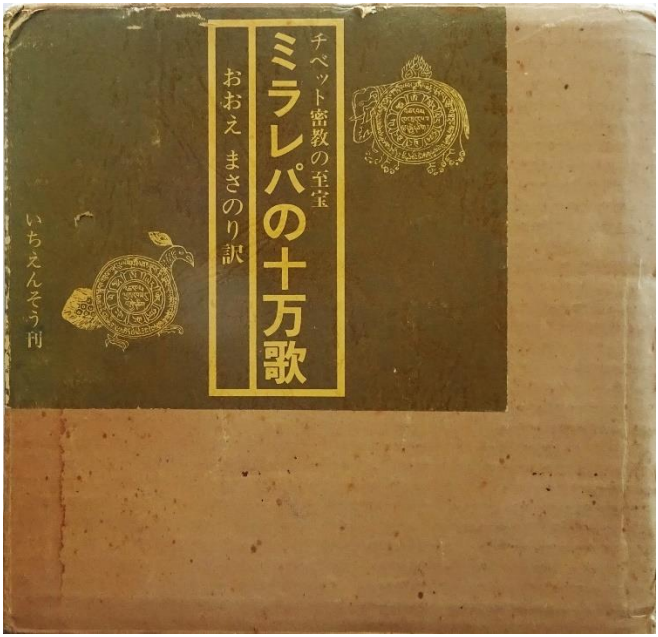
(後記)・チベット仏教の法統・グル

・タントラへの道・マハー・ムドラーの詩

83-ミラレパの十万歌

訳編/おおえまさのり　いちえんそう

1983年　（原題:ミラ・グルブム/英訳版1962年）



【1-ミラレパの魔物の征服と回心】

・赤岩の宝珠の谷の話　・雪山の歌

・賢い魔女の挑戦　・ラクマのミラレパ

・ヨーギの喜びの歌　・ミラレパと鳩

【2-ミラレパと人間の弟子たち】

・灰岩の金剛の砦　・現成の歌

・宿での歌　・杖の歌

・ダルマ・ワンチュックへの訓戒

・ティ・セ雪山での奇跡競べ

・賢い少女からの挑戦　・狩人と鹿

・バルドでの導きの教　・論理学者の挑戦

・苦しみを離れ、幸せを得る歌

・ミラレパの法嗣、聖ガムポパ

【3-諸編】

・いくつかの短い話　・ポンポ山での説教

・瓶灌頂の奇跡　・酒を飲む歌

・レーチュンへの忠告　・死者の救済

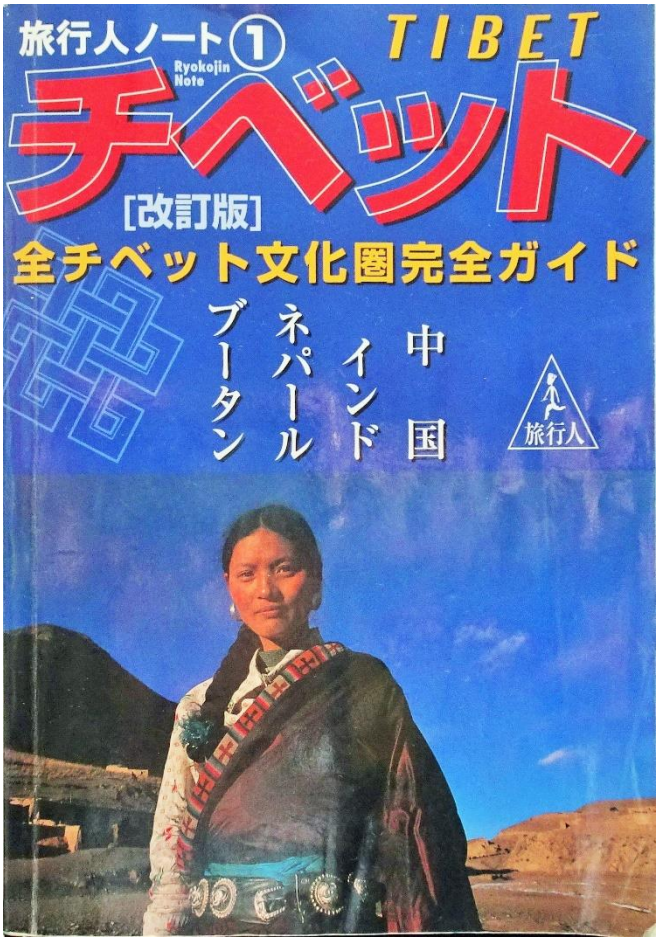
・ダーキニーの予言の実現

・善き仲間の歌　・成就のしるし

・奇跡と最後の訓戒　奥付　他全 61 詩

84-チベット -全チベット文化圏完全ガイド

編集/旅行人編集室　(有)旅行人 1998 年



チベットを旅するために　主要僧院等

【ラサとその周辺】

・ポタラ宮殿(ﾀﾞﾗｲﾗﾏ)　・ジョカン(聖地)

・デプン(ゲ)　・セラ(ゲ)

・ガンデン(ゲ総本山)　・サムイェ(ニ)

・ミンドゥリン(ニ南)・ドルジェダク(ニ北)

・ディクンティ(カ)　・ツルプ(カ総本山)

・ラルン(カ)　・セーカルグトー(カ)

【ラサ～カトマンドゥ/シガツェ他】

・タシルンポ(ゲ)　・パンコルチューデ(ほ)

・ギャンツェクンプム(ほ)　・ンゴル(サ)

・プンツォリン(カ)　・サキャ(サ総本山)

【カイラスへ(西ﾁﾍﾞｯﾄ)/マパムユムツォ他】

・ズトゥ・プク(カ)　・ギャンダ(カ)

【コンボ・チャムド(東部)】

【アムド(甘粛省・青海省・四川省ﾁﾍﾞｯﾄ圏)】

・ラブラン(ゲ)　・クンブム(ゲ)

【カム東部(四川省カンゼ、木里)】

・カンゼ(ゲ)　・ラルン・ガル(ニ)

・ゾクチェン(ニ)　・リタン(ゲ)

【雲南省デチェン/昆明、大理、麗江　他】

・ソンツェンリン(ゲ)

【ラダック・ザンスカール(インド)】

・ラダック・ザンスカール・ラホール

・スピティ(キ、ダンカル)・キナール

・ダラムサラ(ナムギェル、ダライラマ邸)

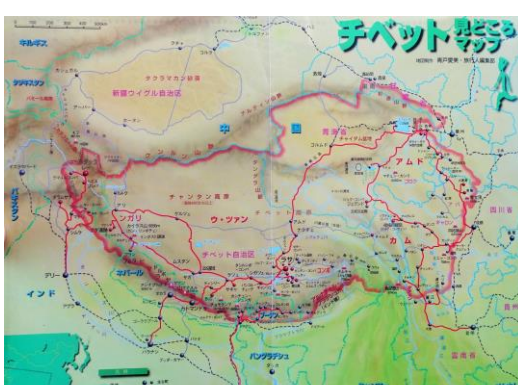
【ネパールﾁﾍﾞｯﾄ圏/カトマンドゥ,ボカラ他】

・スワヤンブナートとボダナートの僧院群

【シッキム(インド)】

・ルムテク(カ/ｶﾙﾏﾊﾟ)　　・タワン(ゲ)

【ブータン/パロ、ティンプー　他】

・サンドペルリ・タクツァン・トンサ等

()＝宗派/ゲルク、カギュ、ニンマ、サキャ、ほか